Medline Industries, LP

ESG レポート 2022

人と地球のために、より持続可能な医療を実現する

目次

Medline について

本レポートについて 3
Medline とは 4
2022 年 ESG のハイライト 7

ESG を事業に組み込む: アプローチと戦略

Charlie Mills (CEO) からのメッセージ 9
Francesca Olivier (ESG 担当バイス プレジデント) との Q&A 10
最重要事項: 重要な ESG トピックに関して 11
持続可能性の戦略と枠組み 12
ESG のガバナンスとアカウンタビリティ 13

気候レジリエンスと環境への取り組み

気候変動への取り組み 15
環境スチュワードシップ 19

責任ある製品

持続可能な製品、プログラム、パッケージング 21
製品の安全性 23
製品表示とマーケティング 23

人々とコミュニティ

当社の従業員 25
当社のコミュニティ 33
当社のサプライヤー 38

強固なガバナンス

エシカル ソーシング 40
企業倫理 42
データ プライバシーとセキュリティ 43

SASB コンテンツ

インデックス 44

本レポートについて

本「ESG レポート」は、2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの当社の取り組みについて記述したもので、当社のグローバル事業のすべての範囲を網羅しています。

当社の方針、過去のレポート、データのダウンロードへのリンクがあるオンライン ESG レポート ハブにアクセスするには、ESG レポート ライブラリをご覧ください。Medline の詳細については、www.medline.com. をご覧ください。お問い合わせは、ESG@medline.com までメールでお送りください。

報告方法

本レポートの構成と内容では、米国サステナビリティ会計基準審議会 (SASB) によるヘルスケア流通業と医療機器・医療用品の基準のガイダンスを考慮しています。当社は、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) のリスク マネジメントの枠組みに沿った報告を行っており、現在、科学的根拠に基づく目標および二酸化炭素削減戦略の策定とその実践的取り組みの評価を行っています。

当社では、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の重要性と妥当性を認識しています。目標 1 ～ 13 と 15 ～ 17 が当社の事業にとって重要であると考えており、本レポートではそれらの目標に沿った取り組みについて説明しています。また、当社は毎年 EcoVadis 社に業績を報告しています。

製品の品質と安全性を担保するため、Medline は医療機器単一調査プログラム (MDSAP) に参加しており、該当する米国食品医薬品局 (FDA) の規制、EU 医療機器規制 (EU MDR)、ISO 規格、地域的要件に準拠する品質システムを維持しています。Medline の本社と一部の事業拠点では、特定の品質・環境システム認証を取得しています。以下はその一例です。

- MDSAP – 品質マネジメント システム
- ISO 13485 – 品質マネジメント システム
- ISO/IEC 17025 – 試験所・校正機関の認定
- EU MDR – 欧州医療機器規制
- ISO 14001 – 環境マネジメント システム

SASB STANDARDS
Now part of IFRS Foundation

ISO

Medline とは

Medline はヘルスケア企業です。製造・販売・ソリューション提供を通して、ヘルスケア業界全体の向上に注力しています。

Medline は、あらゆる医療においてシステムや施設と連携し、高いクオリティの医療を長期的に事業として提供可能にするために必要な医療資源とサプライ チェーンを提供します。

その機敏性と規模でリードする Medline は、未来に向かって投資し、ダイナミックに変化する市場に対してカスタマイズしたソリューションで迅速に対応しています。

Medline は、米国イリノイ州ノースフィールドに本社を置き、全世界に 34,000 人以上の従業員を抱え、 125 以上の国と地域でビジネスを展開しています。米国内の従業員数は 22,271 人であり、これは全従業員数の 65.5% にあたります。

グローバル展開

Medline は、医療機器の製造と販売を行う米国最大の株式非公開企業であり、グローバルで拡大を続けています。

製造拠点

販売されている Medline ブランド製品の 50% 以上は、北米の Medline または米国のサプライ パートナーによって製造された製品です。北米には 20 か所以上の製造拠点があります。米国内の拠点は、カリフォルニア州、コネチカット州、ジョージア州、イリノイ州、ミシガン州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、オクラホマ州、オレゴン州、ペンシルベニア州、サウスカロライナ州、テネシー州、テキサス州、ウィスコンシン州にあります。また、メキシコにも施設を有しています。北米以外では、オーストラリア、フランス、日本、ポーランド、スロバキアに製造拠点を有しています。

オペレーション

北米だけでも、 Medline には 50 以上の物流センターと 2,800 万平方フィート (約 2.6 平方キロメートル) 以上の倉庫用地があります。米国外では、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、アイルランド、日本、メキシコ、プエルトリコ、スペイン、スイス、英国に物流センターを有しています。

世界の物流センター

製品

Medline は、250 以上の製品カテゴリで 360,000 以上の製品を提供しています。当社は、広大な製造拠点ネットワークとグローバル ソーシング能力を活用し、約 200,000 の Medline ブランド製品による幅広い製品ポートフォリオを提供しています。また、国内ブランドのメーカーと強い関係を維持しており、それらのメーカーの製品を160,000 点以上販売しています。

この幅広い製品ポートフォリオを補完するため、当社では、主要な物流網を構築し、出荷を調節し、* すべてのチャネルに高レベルのサービスを提供することが可能です。Medline は、あらゆる医療において各チャネルにサービスを提供しています。たとえば、急性期医療、外来手術センター、マネージド ケア、診療室、急性期後治療のような分野です。

製品カテゴリ

- 体液管理製品
- スキンケア製品
- 創傷ケア
- 麻酔関連製品
- 医療機器再処理
- 診断関連製品
- 他社ブランド製品
- 介護・介助製品
- 検査用手袋
- マスク、アイソレーション ガウン、サージカル ガウン/ドレープ (PPE)
- 失禁ケア製品
- インテリア製品
- ラボ関連製品
- 未滅菌キット・処置キット
- 手術室関連製品
- 整形外科関連製品
- 清拭・感染予防製品
- プライマリ ケアの関連製品
- 体圧分散関連製品
- 呼吸器療法製品
- 手術準備キット (SPT)
- 手術用手袋
- テキスタイル製品
- 泌尿器関連
- バスキュラー アクセス

Medline とは (続き)

収益明細

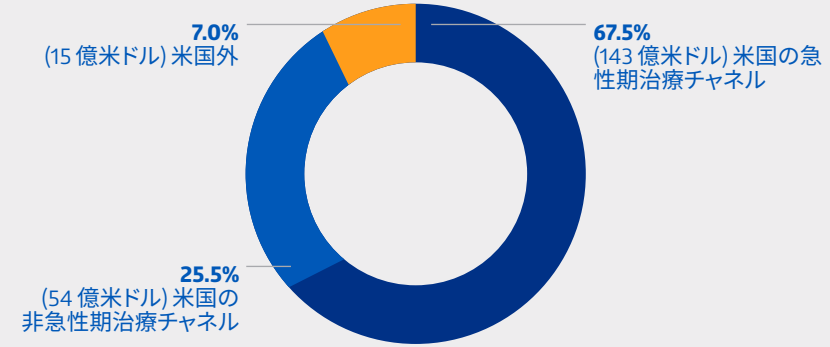
Medline は、米国内の全チャネルで大きな売上成長を遂げ、全世界の収益は 212 億米ドルに達しました。このうち 93% を米国が占めており、米国では急性期医療チャネルが最大で、手術関連製品の供給で市場の主導的地位を保ち続けています。

まとめ

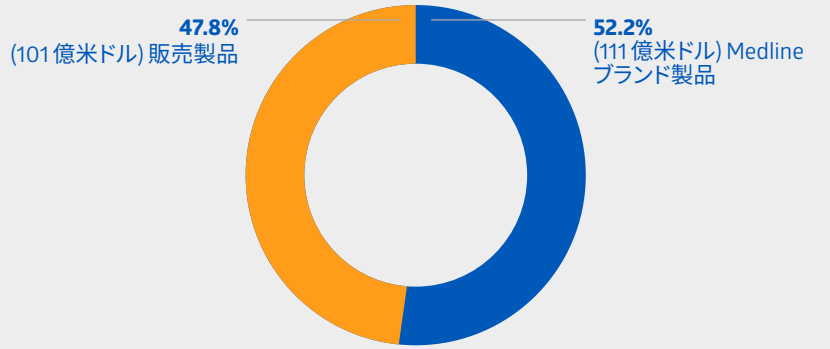
360,000以上	あらゆるニーズに対応する製品数
125カ国以上	事業展開国数
2,800万平方フィート以上	北米の倉庫用地 (約 2.6 平方キロメートル)
1日	米国の 95% の地域への出荷にかかる日数。各顧客向けに平均 60 日分の在庫を保有
34,000人以上	全世界の従業員数
70%	US ニューズ & ワールド・レポート誌の「優良病院」が Medline を選択した割合
50年以上	年間収益の継続的成長の年数
1,500台以上	米国内に保有する MedTrans トラックの台数

収益

総額と割合 (チャネル別)



収益の総額と割合 (製品ブランド別)



2022 年 ESG のハイライト

リーダーシップ

2022 年、当社は注力分野を従来の企業の社会的責任 (CSR) から ESG モデルへと拡大し、「責任ある企業市民になる」ことの意味をより広い視点で捉えることにしました。また、世界的規模のプログラム展開のために、それぞれの市場で ESG 活動を支援するグローバル・アラインメント・コミッティのメンバーを決定しました。

環境

2016 年以降、全世界で太陽光発電に**3,440 万米ドル**を投資

当社が米国内に保有する物流センターの **98%** が、Leadership in Energy and Environmental Design (LEED) の認証取得済みまたは審査中

10 箇所の ISO 14001 認証取得施設を全世界に保有

2022 年に **230 万台以上の医療機器**を再処理し、約 500 トンの廃棄物を削減

社会

Medline **米国において、ユニークで多様な従業員を代表する 7 つ**の従業員リソース グループ

1,636 人の米国在住従業員が、151 件のボランティア活動に 8,814 時間を投入

643.75 トン相当の製品 (**270 万米ドル相当**) を世界中の医療救援のために寄付

ガバナンス

サプライ チェーン全体でエシカル ソーシングを確保するため、2022 年に **592 件**の社会監査を実施

部門横断的な最高幹部が参加する、第 1 回**グローバル ESG およびコンプライアンス サミット**を開催

強化されたコンプライアンス方針と手続き (グローバル方針の策定も含む)

受賞歴と功績

- フォーブス誌の「America's Largest Private Companies (米国最大の非上場企業ランキング)」(15 位)
- フォーブス誌の「Best Employer for Women (女性が最も働きやすい企業)」(400 社中 28 位)
- フォーブス誌の「Best Employer for New Grads (新入社員が最も働きやすい企業)」(300 社中 80 位)
- US ニューズ&ワールド・レポート誌の「優良病院一覧」(「優良病院」の 70% が Medline を選択)
- シカゴ トリビューン誌の「Top Workplaces 2022 (トップ ワークプレイス 2022)」
- Becker's Healthcare (ヘルスケア業界で働きやすい会社トップ 150、2022)
- フォーブス誌の「Best Large Employers 2022 (最も優良な大企業 2022)」(500 社中 360 位)
- フォーブス誌の「Best Employers in Illinois 2022 (イリノイ州の最も優良な企業 2022)」(100 社中 32 位)
- Instituto Mexicano del Seguro Social の「安全企業認定」(メキシコ、メヒカリ)
- ELSSA Distinction の「安全かつ健全な職場環境」(メキシコ、ヌエボ ラレド)
- ELSSA Distinction の「安全かつ健全な職場環境」(メキシコ、メヒカリ)
- Great Place to Work Mexico の北東地域認定
- La Asociación de Maquiladoras de Exportación de Nuevo Laredo の「環境優良賞」(メキシコ、ヌエボ ラレド)
- Disabled Certificate for Organizations (DisCert) (欧州) の「シルバー認定」

参加している業界団体

- Practice Greenhealth
- Healthcare Distribution Alliance
- Health Industry Distributors Association
- MedTech Canada
- MedTech Europe
- Advanced Medical Technology Association (AdvaMed)

アプローチと戦略

2022 年、ESG 原則に基づいて持続可能性の計画と実行の枠組みを示すため、Medline の強化された ESG 戦略はその範囲がグローバルになり、現在では全世界のすべての事業活動を対象とするようになりました。

グローバルな視野を広げる一方で、各ローカル市場の具体的なニーズの定義も行いました。この 2 点を重視することによって、当社はより優れた雇用主となり、医療機器業界でより強く、より責任ある存在になれると考えています。

民間企業は世界的規模の持続可能な開発アジェンダに貢献し、その影響について慎重に検討すべきだと当社は考えています。当社は CSR を広く解釈しており、当社の資源と限界に応じて社会、環境、経済、およびガバナンスにかかわる問題に取り組みながら、ESG の枠組みの下でこれを継続していきます。

このフィロソフィーは、本レポートの主な内容を構成する重要な ESG トピックに反映されています。

Charlie Mills (CEO) からのメッセージ

Medline は 50 年以上にわたり、従業員、顧客、そして私たちが住み働くコミュニティに最高のサービスを提供するために、根気強く取り組んできました。そのために、また一企業として成長するためには、声に耳を傾け、学び、適応する文化が必要です。

当社の成長の一環として、Medline は「責任ある企業市民になる」ことの意味をより広い視点でとらえ、環境、社会的公正、健全なガバナンスに取り組むことの責任と世界的な恩恵を認識しています。

このことを念頭に置いて、Medline は ESG 原則を既存の事業戦略に組み込み、業務に対してより広範囲でグローバルなデータに基づいたアプローチを確立しています。このモデルは、温室効果ガス排出 (GHG)、持続可能な製品とパッケージング、サプライヤーの多様性、エシカル ソーシング、DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン) などを重視した、世界的規模の部門横断的な取り組みで構成されています。従業員、顧客、地域社会が正しい行動をとることは、引き続き最も重要なこととなっています。

これらの優先課題へのコミットメントは、米国と全世界で事業を展開するうえで、ますます必要不可欠なものとなっています。しかし、それ以上に重要なのは、現代経済において責任ある企業市民がどのように事業を営むべきかということです。

ESG への取り組みが最近拡充してきていることを考慮すると、本レポートは ESG の影響に関する Medline の最初の真のグローバル レポートとなります。本レポートは、当社事業に最も関連する ESG トピックを推進するための最近増えつつある社内コラボレーションだけでなく、SASB 基準に適合するための調整も反映しています。これは、業界の標準と透明性に対する当社のコミットメントを示すものです。

本レポートの内容は、ESG に基づく取り組みの初期のステップを記録したものです。当社が引き続き発展していくにつれて、レポート内容も充実していくことでしょう。今後の成果を共有し、高い基準の社会意識を実証したいと考えています。

Charlie Mills
最高経営責任者 (CEO)
Medline Industries, LP
2023 年 5 月

「当社の継続的な成長の一環として、Medline は『責任ある企業市民になる』ことの意味をより広い視点でとらえ、環境、社会的公正、健全なガバナンスに取り組むことの責任と世界的な恩恵を認識しています。」

Charlie Mills (最高経営責任者)

Francesca Olivier (ESG 担当バイスプレジデント) との Q&A

「ESG に対する当社のアプローチは、事業戦略と一致しています。つまり、再生可能エネルギーに投資し、持続可能な製品とプログラムを開発し、倫理的なサプライ チェーンを確保することは、単に正しいことであるだけでなく、事業にとっても有益なことなのです。」

Francesca Olivier
(ESG 担当バイス プレジデント)

ESG が Medline にとって重要なのはなぜですか?
ヘルスケアほど ESG トピックと密接にかかわっている分野はありません。健康の公平性、医療アクセス、そして適正な医療費は、基本的人権です。他の分野では、気候変動問題の緊急性を認めることが難しいこともあるようですが、当社の顧客は患者様や地域社会への影響を日々実感しています。大気汚染、異常気温、気象現象、ベクター媒介性疾患が人の健康に及ぼす影響のために、患者様とコミュニティ全体のニーズが変化しつつあります。これらの問題はヘルスケアの未来を形成するものであり、ステークホルダーつまり従業員、顧客、コミュニティに対して当社が果たすべき責任として、回復力のある先進的な企業を作り上げなければなりません。ESG は私たちに最も関係があるニーズを特定するための枠組みと、未来の青写真を提供してくれます。

2022 年のハイライトで、誇りに思っていることはありますか?
ESG のより広い原則を網羅するために戦略を拡大し始めた最初の年には誇りに思うことがたくさんありますし、戦略のそれぞれの柱に対する私たちの進歩を際立たせる多くの物語があります。

環境フットプリントを削減するための取り組みの一環として、太陽光発電への投資を継続し、世界各地でのソーラー パネル設置のポートフォリオを拡大していきました。

社会的観点から、当社には現在、Medline のユニークで多様な従業員を代表する 7 つの従業員リソース グループ (ERG) があり、従業員たちは多くの場面で自分が受け入れられていると感じています。また、私は、災害や困難な時期に製品の寄付を通じて世界的規模の医療援助を行ったことにも誇りを持っています。

最後になりますが、ガバナンスの下、私は Medline のリーダーたちが全社的に当社の ESG 戦略に積極的に参加し、実質的に貢献していることを特に誇りに思っています。ESG プログラムを成功させるには、Medline のすべての事業部、部署、市場、地域にわたる横断的な協力が必要です。当社の世界的リーダーは、ESG の基盤を構築するために必要不可欠な存在であり、ESG 戦略が成熟し成長していく中でも引き続き重要な存在となります。

ESG モデルへと発展させて以降、最も大きく変化したことは何ですか?
従来の CSR から ESG モデルに拡大するにあたり、「責任ある企業市民になる」ことの真の意味をより広い視点で捉えることにしました。そのため、当社は ESG 目標を既存の事業戦略に沿って進める総合的なアプローチを採用しています。また、増大するデータ量と透明性の向上に対応できる注力分野を拡大しています。かつては、業務範囲をいくつかの主要な目標に限定していましたが、ESG 戦略を開始してからは 17 個の重要な ESG トピックにグローバルに取り組めるように範囲を拡大しました。

また、現在では、ESG は Medline の従業員一人ひとりの責任であることを強調しています。この ESG の戦略と精神を社内の隅々にまで浸透させるべく取り組んでいます。「私たちの背後にある Medline の力をフルに発揮してこそ、目指すことを実現できる」というのが当社の信念です。

Medline が ESG に対するグローバルなアプローチを取るために、どのようなことを行ってきましたか?
2022 年、真にグローバルな ESG プログラムの策定に進展がありました。米国と欧州が、ESG 専任の従業員を配置する最初の地域になりました。オーストラリアではフルタイムの ESG マネージャーが加わり、日本も 2023 年にそれに続く予定です。また、グローバル・アラインメント・コミッティを設置し、日々の業務に加え、それぞれの市場における ESG 活動をサポートし、人事やコミュニケーションなどに注力する他の ESG サポートの役割をリードするメンバーを召集しました。

書類上は比較的単純なステップですが、ESG の取り組みを全世界で推進するためには、適材適所の配置が成功にとって必要不可欠なのです。

この ESG レポートは、どのような点で過去の Medline の CSR レポートと異なりますか?
当社は過去数年間、CSR イニシアチブのレポートを公開してきましたが、本レポートで初めて実施することがいくつかあります。本「ESG レポート 2022」は、世界全体を対象範囲とし、SASB 基準に沿った取り組みを行った最初のレポートです。これは意義深いことです。と言うのは、これが、第三者基準により、企業間の ESG レポートの透明性と整合性が担保されるからです。

今後を見据えている Medline の ESG チームにとって主要な重点分野になるのはどこでしょうか?
2022 年、当社はマテリアリティ評価を初めて実施して、Medline が取り組むべき最も重要な ESG トピックを特定しました。次のステップでは、トピック別にグローバル ワーキング グループを結成して、グローバル戦略を策定し関連するデータを取得します。当社はこのプロセスを既に DEI、エシカル ソーシング、サプライヤーの多様性に向けて開始しています。その他の優先事項としては、監査可能なデータをグローバルに収集するためのプロセスを確立することや、公開するレポートを SASB などのグローバル スタンダードに合わせるためにより緊密に連携することなどが挙げられます。

最重要事項: 重要な ESG トピックに関して

当社は、事業とステークホルダーにとって最も重要なさまざまな問題を理解し、それらを ESG 戦略とレポートに組み込むことの重要性を認識しています。

2022 年、当社はマテリアリティ評価を実施して、Medline の全体的なバリューチェーンにとって最も重要な ESG トピックを特定しました。

この評価の実施にあたっては、Global Reporting Initiative (GRI) と SASB (現国際財務報告基準財団の一部) が提唱するマテリアリティに対するアプローチに従いました。ESG トピックの特定は、GRI,SASB をはじめ、ヘルスケア流通業、医療機器・医療用品基準、および Practice Greenhealth などの業界団体を情報源として行いました。

当社は 17 個の重要な ESG トピックを特定しました。評価を行うにあたり、これらの問題が顧客、投資家、従業員、非政府組織にとってどれほど重要なのかについて検討しました。また、リスクベースのアプローチについても検討し、影響の大きさを評価しました。

環境

★優先順位の高いトピック
温室効果ガス (GHG) 排出: 当社はカーボンフットプリントの削減に取り組んでおり、お客様にも同様に実現して頂けるよう支援しています。

★優先順位の高いトピック
持続可能な製品、プログラム、パッケージング: 当社は、数多くの持続可能な製品、プログラム、パッケージングを提供しています。

廃棄物マネジメント: 当社では、廃棄物による環境への影響を削減するための方針およびプログラムを構築しています。

大気放出: 当社は、工場や車両など、さまざまな分野に影響を及ぼす大気環境問題に積極的に取り組んでいます。

水および廃水マネジメント: まだ初期の段階ですが、当社は事業活動全体で水消費量および排水量を削減する機会を検討しています。

気候関連リスク: 当社は、気候変動がもたらすリスクを認識し、そのリスクを考慮して事業上の意思決定を行っています。

社会

★優先順位の高いトピック
DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン): 当社の目標は、多様性に富んだインクルーシブな職場を構築し、維持することです。

★優先順位の高いトピック
サプライヤーの多様性: 当社は、小規模で多様性のあるサプライヤーの基盤を強化し、成長するよう取り組んでいます。

従業員の健康と安全: 当社は、安全で健康的な職場環境の維持に取り組んでいます。

従業員エンゲージメント: 当社は、友好的で質の高い職場の構築に向けて努力しています。

製品の安全性: 当社は、製品の健康上および安全上のリスクを最小限に抑えています。

コミュニティ エンゲージメント: 当社はコミュニティで積極的な指導者となるべく努力しています。

医療アクセスと適正な医療費: 当社は、特に低資源国に住む人々の間で、当社製品およびサービスへの幅広いアクセスを確保したいと考えています。

ガバナンス

★優先順位の高いトピック
エシカル ソーシング: 当社は、サプライチェーンの全局面において、基本的人権を尊重し、重視し支持しています。

企業倫理: 私たちは、必要なことだけでなく、正しいことを行います。

データ プライバシーとセキュリティ: 当社は、情報のライフサイクルを通じて、個人データを安全に保護します。

製品表示とマーケティング: 当社は、マーケティング ステートメント、製品およびサービスに関する広告および表示において、透明性が高く、正確かつ包括的であることを目指しています。

Medline Industries, LP ESG
レポート 2022

持続可能性の戦略と枠組み

当社は、マテリアリティ評価の一環として特定されたトピックを 4 つの柱にまとめ、当社の戦略的アプローチに反映させるとともに ESG 目標に沿うものにしています。当社は、これら 4 つの重点分野に基づいて報告書を作成しています。

ESG パーパス:

人と地球のために、より持続可能な医療を実現する

第 1 の柱

気候レジリエンスと環境への取り組み

私たちは、天然資源を守り、廃棄物を削減するため、新旧のグリーン テクノロジーへの投資や実用的なソリューション創出によって、環境に配慮した持続可能な事業の構築に取り組んでいます。当社はカーボン フットプリントの削減に取り組んでおり、お客様にも同様に実現して頂けるよう支援しています。

重要な ESG トピック:
– 温室効果ガス (GHG) 排出
– 気候関連リスク
– 大気放出
– 廃棄物マネジメント
– 水および廃水マネジメント

第 2 の柱

責任ある製品

私たちは、患者様と環境の双方にとって安全でクオリティの高い製品を提供することに注力しています。当社は、製品表示に透明性を保ち、責任あるマーケティング活動に取り組んでいます。

重要な ESG トピック:
– 製品の安全性
– 持続可能な製品、プログラム、パッケージング
– 製品表示とマーケティング

第 3 の柱

人々とコミュニティ

私たちは、従業員、コミュニティ、サプライヤー、患者様が、潜在的に持つ能力を最大限発揮できることを願っています。その支援のため、職場における最高水準の安全と健康の維持、従業員のつながりや能力開発の機会の創出、組織全体での DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン) 推進、そして、世界各地のコミュニティにおける健康の公平性に取り組みます。

重要な ESG トピック:
– 従業員の健康と安全
– 従業員エンゲージメント
– DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)
– コミュニティ エンゲージメント
– 医療アクセスと適正な医療費
– サプライヤーの多様性

第 4 の柱

強固なガバナンス

私たちは、必要なことだけでなく、正しいことを行います。当社の事業、従業員、サプライヤーに対して高い倫理基準を求めます。

重要な ESG トピック:
– エシカル ソーシング
– 企業倫理
– データ プライバシーとセキュリティ

ESG のガバナンスとアカウンタビリティ

ESG ガバナンスは、取締役会がその責任を担っています。当社のアプローチには 3 つの基本原則が設けられています。

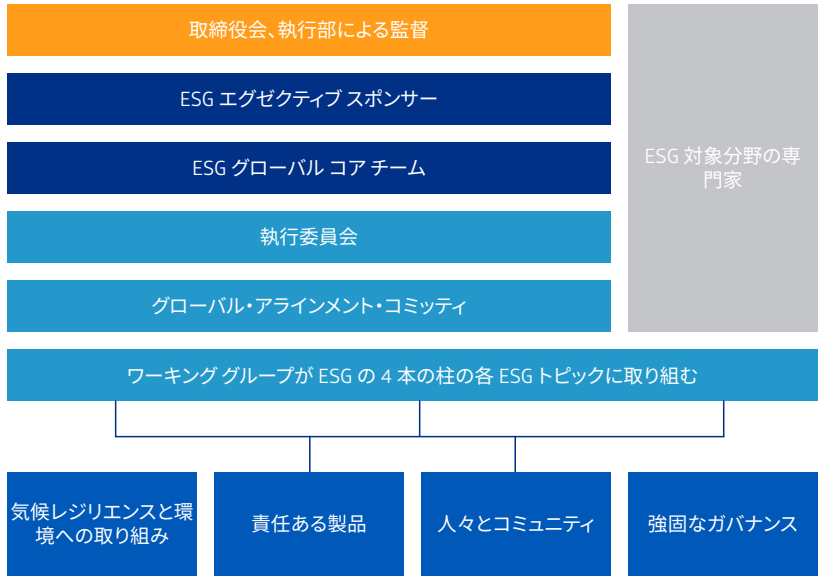
当社の取締役会および執行部が指導と監督を行います。
Medline Industries, LP の取締役会および執行部は、Medline のグローバル戦略を監督し、経済、社会、環境、およびガバナンスの問題に関して意思決定を行う最高レベルの機関です。執行部のメンバーは、Medline Industries, LP の最高経営責任者 (CEO)、社長、および最高執行責任者 (COO) です。

ESG は取締役会の議題であり、委員会レベルでも討議されます。取締役会および執行部のメンバーは、この報告を構成するマテリアリティ評価を検討し、承認しました。

当社のエグゼクティブ スポンサーと ESG グローバル コア チームは、当社の全体的な戦略を設定し、実践します。
ESG 活動のエグゼクティブ スポンサーは Medline Industries, LP の最高法務責任者であり、取締役会の事務官を兼任し、ESG のバイス プレジデントが率いるの ESG グローバル コア チームと緊密に連携します。このチームは当社のグローバル ESG 戦略を策定および実行し、規制を監視しながら、それに応じて戦略や方針を調整し、第三者の基準に沿った当社の取り組みを報告します。チームのメンバーはすべてイリノイ州ノースフィールドにあるグローバル本社を拠点としていますが、グローバルな責任を担っています。

当社の ESG 執行委員会、グローバル・アラインメント・コミッティ、およびワーキング グループは、重要トピックの活動に関して助言を行います。
当社は、重要な ESG トピックの管理において具体的な進展を達成することを目的としたグローバル戦略を策定しています。重要な ESG トピックに対する当社のアプローチは、部門横断的なグロ―バル ワーキング グループによって策定され、グローバル・アラインメント・コミッティ (オーストラリア、カナダ、中国、欧州、中東、アフリカ、日本、中南米諸国、ニュージーランド、ベトナムの代表者で構成) で検討された後、全社の最高幹部で構成される部門横断的な執行委員会によって承認されます。

Medline の ESG ガバナンス



気候レジリエンスと環境への取り組み

私たちは、天然資源を守り、廃棄物を削減するため、新旧のグリーンテクノロジーへの投資や実用的なソリューション創出によって、環境に配慮した持続可能な事業の構築に取り組んでいます。

当社はカーボンフットプリントの削減に取り組んでおり、お客様にも同様に取り組みを進めて頂けるよう支援しています。

ハイライト

3,440 万米ドル
2016 年以降の太陽エネルギーへの投資額

約 60,000 枚
のソーラー パネルを当社施設に設置

98%
当社が所有する米国の物流センターの 98% が LEED 認証取得済みまたは審査中

10
世界にある ISO 14001 認証取得施設

重要な ESG トピック:

温室効果ガス (GHG) 排出:
当社はカーボンフットプリントの削減に取り組んでおり、お客様にも同様に実現して頂けるよう支援しています。

気候関連リスク:
当社は、気候変動がもたらすリスクを認識し、そのリスクを考慮して事業上の意思決定を行っています。

大気放出:
当社は、工場や車両など、さまざまな分野に影響を及ぼす大気環境問題に積極的に取り組んでいます。

廃棄物マネジメント:
当社では、廃棄物による環境への影響を削減するための方針およびプログラムを構築しています。

水および廃水マネジメント:
まだ初期の段階ですが、当社は事業活動全体で水消費量および廃水発生量の削減機会を探っています。

気候変動への取り組み

気候変動は医療においても差し迫った問題です。ハリケーン、熱波、山火事、干ばつ、洪水などの発生頻度の増加は、大気の温暖化に起因しています。米国では、アメリカ疾病予防管理センターが「公衆衛生もまた、物理学的、生物学的、生態学的システムの混乱によって影響を受ける可能性がある」と報告しています。

これらの混乱が健康に及ぼす影響は、呼吸器疾患や心血管疾患、異常気象に関連した怪我や早逝の増加、食品や水に起因する病気やその他の感染症の流行や地理的分布の変化、メンタル ヘルスへの脅威などが含まれます。

当社は、気候変動が最終的に当社の製品を使用している患者様の健康に影響を与えることを懸念しており、環境への影響を軽減することを目標に掲げています。

気候変動に対処するには俯瞰的な思考が必要です。私たちは測定可能で環境にやさしい活動を実践することで、持続可能性の実現に取り組んでいます。
Medline はこれまでに、北米および欧州での事業活動におけるスコープ 1 およびスコープ 2 排出量を、一部のカテゴリに限定したスコープ 3 排出量とともに報告してきました。2023 年からは、世界規模でのスコープ 1、スコープ 2、および追加のスコープ 3 排出量データの収集を開始します。当社では現在、科学的根拠に基づいた目標および二酸化炭素削減戦略の策定とその取り組みの評価を行っています。

わたしたちは、気候変動が当社の事業に継続的なリスクをもたらすことを認識しています。この潜在的なリスクをもっとよく理解するために、当社では最もリスクの高い領域と場所を特定するための分析を行い、それらのリスクを軽減するための措置を講じる予定です。

スコープ 1: 直接排出
- 自社の車両
- 自社の施設

スコープ 2: 間接排出
- 購入した電力
- 蒸気
- 自社で使用するための冷暖房

スコープ 3: 間接排出
以下のリストには、スコープ 3 排出量を定量化するために測定可能な重要なカテゴリがすべて含まれています。Medline の 2021 年のスコープ 3 排出量モニタリングでは、出張、輸送と配送 (上流と下流の両方)、燃料およびエネルギー関連の活動に対する米国のデータを評価しました。

- 購入した製品およびサービス
- 資本財
- 燃料およびエネルギー関連の活動
- 輸送と配送 (上流)
- 事業活動で発生した廃棄物
- 出張
- 雇用者の通勤
- リース資産 (上流)
- 輸送と配送 (下流)
- 販売した製品の加工
- 販売した製品の使用
- 販売した製品の廃棄
- リース資産 (下流)
- フランチャイズ
- 投資

気候変動への取り組み (続き)

Medline はスペインで国レベルで行ったスコープ 1 とスコープ 2 の GHG 排出量の測定で MITECO 認証を取得しました。2022 年 6 月にスペインの環境移行・人口問題省により発行されたこの認証は、カーボンフットプリントの透明性のある測定と情報開示を奨励するために企業に授与されるものです。この認証の有効期間は 12 か月で、当社は毎年更新できることを目標としています。

当社の実績

当社は、毎年の GHG インベントリによって二酸化炭素排出量を測定し、そのデータを使用して、カーボンフットプリントをより適切に管理するための戦略を策定します。2023 年初めには、エネルギー使用量の削減とサプライ チェーンの分析に焦点を当てた脱炭素化ワーキング グループを招集し、最初の戦略としてエネルギー監査、エネルギー管理業務の改善、および最新設備や太陽光技術への投資などを実施します。

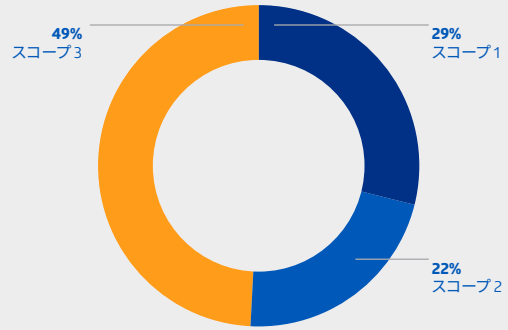
2021 年の絶対排出量

スコープ	CO2e 絶対排出量 (mtons CO2e)
スコープ 1	92,621.86
スコープ 2	72,036.90
スコープ 3	156,119.62
総排出量:	**320,778.38**

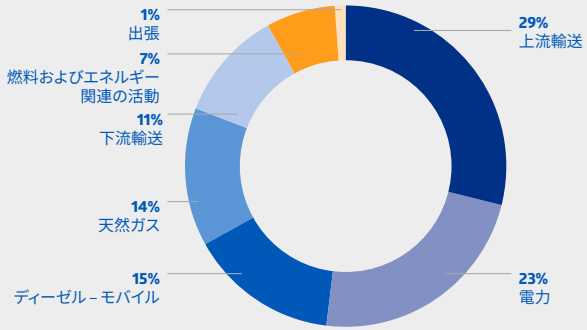
絶対排出量とは、GHG 総排出量を意味します。Medline の 2021 年の絶対排出量は 2020 年と比較して 4%* 減少しましたが、これは主にスコープ 2 排出量の削減によるものです。当社で測定した排出量のほとんどは、上流の輸送、電力、ディーゼルおよび天然ガスの使用によるものです。2022 年の排出量データは、報告時点ではまだ作成中です。

*Medline の 4% 削減は、北米および欧州を含むインベントリ管理計画 (IMP) に適用されます。4% の絶対排出量の削減の特定に、2020 年に使用した同じ IMP を 2021 年にも使用しました。

2021 年のスコープ別絶対排出量



2021 年のカテゴリ別絶対排出量



気候変動への取り組み (続き)

再生可能エネルギーへの投資

当社は再生可能なエネルギー資源に多額の投資を行っています。最初の地熱施設を建設した 2009 年に、再生可能エネルギー ポートフォリオを作成しましたが、それ以来そのポートフォリオは拡大し続けています。

— **地熱。**Medline は、イリノイ州マンデレイン、オランダのアルンヘム、アイオワ州ダビュークの 3 か所に地熱施設を所有しています。地熱技術は、地表の熱を利用して、建物の冷暖房を行う技術です。

— **太陽光。**2016年以降、Medline は世界規模で太陽光エネルギーに 3,440 万米ドルを投資しています。当社のポートフォリオは、10 の施設全体で 270 万平方フィート (約 0.25 平方キロメートル) の屋上スペースに 59,000 枚以上のソーラー パネルで構成されています。2022年には、これらの施設で1,100万kWh以上のエネルギーが生みだされ、このエネルギーで各拠点の年間エネルギー使用量の16~73%を相殺することができました。

当社の太陽光エネルギー ポートフォリオ一覧

場所	設置面積 (平方フィート)	ソーラー パネル 枚数	投資額 (米ドル) (下 3 桁を省略)	電力容量 (MW)	2022 年 1 月 ～ 12 月発電量 (kWh)	施設のエネルギー相殺率
日本、愛西市	50,000	1,665	$868	0.4	518,902	16%
フロリダ州オーバーンデール	250,000	5,077	$2,773	1.65	2,299,416	52%
ドイツ、クレーヴェ	130,000	3,770	$1,200	1	1,067,917	73%
ニューヨーク州モンゴメリー	715,000	19,203	$11,500	7.39	0	フロント オブ ザ メーター**
イリノイ州ノースフィールド	111,500	2,754	$1,690	1.02	1,111,837	16%
カリフォルニア州リアルト	180,000	3,152	$1,882	1.12	1,770,739	32%
オーストラリア、シドニー	29,095	1,344	$406	0.55	427,304	32%
カリフォルニア州トレーシー (サイト 1)*	218,000	3,140	$1,985	1.09	1,782,679	70%
カリフォルニア州トレーシー (サイト 2)*	237,000	3,914	$2,155	1.35	2,128,681	70%
マサチューセッツ州アクスブリッジ	800,000	16,219	$10,000	6.66	0	フロント オブ ザ メーター**
合計	**2,720,595**	**60,238**	**$34,459**	**22.23**	**11,107,475**	

*トレーシーのサイト 1 および 2 は、同じ場所に設置されている 2 つの施設です。
**「フロント オブ ザ メーター」とは、発電した電力を直接送電網に供給するタイプの太陽光発電設備です。これにより大規模な設置が可能になり、当社の施設で使用される電力は直接相殺されません。

持続可能性を考慮した建築

2022 年の時点で、米国に所有する物流センターの 98% が LEED 認証取得済みまたは審査中であり、その面積は約 2,230 万平方フィート (約 2.1 平方キロメートル) に相当します。

Medline Canada の Guelph 物流センターは、LEED 認証を取得した最新の施設です。2021 年 11 月にオープンした 60 万平方フィート (約 55,742 平方メートル) の施設は、カナダ最大級の医療品の在庫と貯蔵スペースを備えています。

欧州では、スロバキアにある手術準備キット (SPT) 施設が 2022 年に BREEAM (建築物環境性能認証) 認証を取得し、フランスにあるもう一つの SPT 施設も同年に BREEAM 認証を取得しました。ドイツにある当社の国際物流センターは、ドイツ持続可能建築評議会 (DGNB) の認定を受けています。

当社の世界 10 か所の拠点で ISO 14001 認証を取得しています。ISO が定めたこの国際的な環境基準は、環境マネジメント システム (EMS) の要求事項を示し、企業が効率的な EMS を構築するためのステップを要約したものです。

資源の保全は気候変動の抑制に極めて重要であり、ISO 14001 認証の取得に不可欠な要素です。当社は以下を実施して、ISO 基準を満たしています。

- 製造および倉庫エリアへの LED 照明の設置
- 廃棄物処理の代替手段の特定と実行
- 水の使用量を削減するための設備と工程の更新
- 設備と工程の効率化

ISO 14001 認証取得施設は以下のとおりです。

- Dynacor (患者用プラスチック) – イリノイ州マンデレイン
- ジョージア州リティア スプリングス
- イリノイ州ノースフィールド
- Readycare (患者の洗浄および感染予防) – イリノイ州ウォキーガン
- 手術準備キット (SPT) – イリノイ州ウォキーガン
- スロバキア、バーノウツェ・ナド・ベブラヴォウ
- フランス、シャトーブリアン
- イタリア、フィレンツェ
- ドイツ、クレーヴェ
- スペイン、マドリード

フランスのシャトーブリアンにある製造拠点では、2022 年 4 月に パッシブ ハウス認証を取得しました。この認証は、オフィス、会議室、およびショールームを備えた新築の建物に適用されます。パッシブハウス認証は、その建物のエネルギー効率が高く、年間エネルギー消費量とコストを低く抑えることができ、その結果 GHG 排出量が低くなることを証明するものです。

その他のエネルギー効率化プロジェクトとして、Medline Mexico の照明のアップグレードが含まれており、複数の施設の製造および倉庫エリアに LED 照明が設置されています。

輸送をより持続可能なものにする

当社のサプライ チェーンは、世界各地の Medline 所有の施設と第三者の施設の両方から製品を調達しています。当社はこれまで、地域ごとの輸送戦略を採用していましたが、現在では持続可能なグローバル輸送戦略の構築に取り組んでいます。当社の脱炭素化ワーキング グループは、排出量をこれまで以上に削減する方法を特定するために、組織全体で調達、事業活動、および製造部門のリーダーと協力しています。

今日、GHG 排出量を削減する方法の一つは、自社のトラック車両を利用することです。Medline US では、車両はコンピューター アルゴリズムによって最も燃費の良いルートが提供されるよう制御されています。また、トラックは走行距離と走行する車両数を削減するような積載量で運行されています。

当社の取り組みは、北米を超えて世界市場へと拡大しています。日本では、当社の営業担当が使用する社用車の 87% をガソリン車からハイブリッド車に切り替えています。欧州では、当社所有の 12 台のトラックでフランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、およびスペインでの配達のごく一部を担っています。すべてのトラックに、Euro VI 排出基準を満たすエンジンを搭載しています。

Medline、南カリフォルニアの病院への製品配送にフル電動セミトレーラーを導入

南カリフォルニアでは、Medline は Volvo Truck とのパイロット プログラムの一環として、病院への配送にフル電動セミトレーラーを使用するという試みを行っています。電動トラックは、Volvo Trucks とその他 12 の組織とのコラボレーション プロジェクトである Volvo LIGHTS (Low Impact Green Heavy Transport Solutions) の一環として開発されたもので、二次電池式電動トラックと機器を大規模に市場導入するための青写真を作るために開発されました。

環境スチュワードシップ

当社は、気候変動と当社の事業活動が自然環境に与える影響との間に直接的なつながりがあることを認識しています。具体的には、排ガス、廃棄物および水使用についてです。

廃棄物、排ガス、水使用および廃水はすべて、Medline の環境マネジメント計画の重要な要素です。当社が所有する施設の多くは ISO 14001 認証を取得しており、エネルギーや排ガスの規制計画が日常業務に組み込まれています。

排ガス

Medline は、排ガス規制に関する現地基準をすべて満たし、そして上回っています。

当社において 2022 年は、排ガスに関する違反はなく、罰金も発生しませんでした。

Medline は、地球規模での排出量をモニタリングする取り組みの初期段階において、重要な分野を特定し、戦略の策定および将来への影響を評価するためのワーキング グループを設置しています。

廃棄物マネジメント

廃棄物マネジメントに対するアプローチは、事業で生成される有害/無害廃棄物の処理に関する環境への影響の低減を目的とするものです。これらの取り組みには、廃棄物の処理、取り扱い、保管および処理、ならびに法規制の遵守が含まれています。

2023 年には、世界各国の拠点から集められた Medline の部門横断的なワーキング グループが、組織全体に適用できる追加の廃棄物削減プロジェクトを特定する予定です。これにより、廃棄物フットプリントの基準値も定められます。このグループは、既存の環境マネジメントの取り組みをさらに拡大し、有害/無害廃棄物に対する当社のアプローチを統一し合理化する予定です。

水および廃水マネジメント

廃棄物マネジメントと同様に、2023 年、ワーキング グループは、水および廃水フットプリントを分析し、戦略的イニシアティブと主要業績評価指標を含むグローバル計画を策定する予定です。

持続可能な製品およびパッケージングに対するアプローチの詳細については、本レポートの 21 ページの「責任ある製品」セクションをご覧ください。

製品寄付プログラムの詳細については、本レポートの 33 ページの「人々とコミュニティ」セクションをご覧ください。

オーストラリアにおける環境保護の取り組み

オーストラリアでは、いくつかの環境保護の取り組みが行われています。具体的には廃棄物マネジメントの追跡を行い、リサイクル製品や余剰製品の慈善寄付によって廃棄物を削減するための主要指標を設定しています。段ボール、紙、軟質プラスチックおよび食品廃棄物はリサイクルされ、当社の処置パックのカートンはクローズドループ システムで再利用されています。シドニーの施設にある専用の雨水タンクは、2022 年の再生水使用量の約 55% を提供しました。また、Tree Per Container プログラムで Greenfleet (オーストラリアの非営利環境団体) を支援するために、このチームは 2018 年以降、植林用に 3,700 本の木を寄付しています。

責任ある製品

私たちは、患者様と環境の双方にとって安全でクオリティの高い製品を提供することに注力しています。当社は、製品表示に透明性を保ち、責任あるマーケティング活動に取り組んでいます。

重要なESGトピック:

持続可能な製品、プログラム、パッケージング:
当社は、数多くの持続可能な製品、プログラム、パッケージングを提供しています。

製品の安全性:
当社は、製品の健康上および安全上のリスクを最小限に抑えています。

製品表示とマーケティング:
当社は、マーケティング ステートメント、製品およびサービスに関する広告および表示において、透明性が高く、正確かつ包括的であることを目指しています。

持続可能な製品、プログラム、パッケージング

当社のヘルスケア パートナーは、懸念化学物質の排除、廃棄物の削減、二酸化炭素排出量の削減など、環境フットプリントを削減するための新しい革新的な方法を模索しています。当社は、これらの目標を達成するためにデザインされた製品およびサービスを提供することで、当社のパートナーの取り組みをサポートしています。

病院では、毎年 500 万トン以上の廃棄物が排出されています*。さらに、ヘルスケア業界の世界全体の正味の GHG 排出量の 4.4% を排出しており、その 71% はヘルスケア サプライ チェーン (製品およびサービスの生産、輸送および処分) に起因しています**。原材料とエネルギー資源の節約は環境への影響の低減に極めて重要です。

Medline では、余剰品の有効活用、責任ある調達、そしてヘルスケア業界のパートナー向けの持続可能な製品の生産および革新的なパッケージング ソリューションの開発を通して、改善に努めています。

グリーン製品ポートフォリオ

2020 年に導入された Medline US のGreen Product Portfolio は、持続可能な製品の検索を簡素化することで、持続可能な調達へのコミットメントを実現するものです。製品は大きく次の 3 つのカテゴリに分類されます。

- 環境サービス: 安全で効果的な洗浄剤といえば、成分が重要です。当社の環境に優しい製剤には刺激の強い化学薬品が使用されていないため、表面を清潔に保ち、人々の健康を保つことができます。
- ヘルスケアの必須事項: プラスチック製の食器類から洗浄ワイプに至るまで、リサイクル材料を使用し、責任ある製造を行い、パッケージングの削減に取り組むことで、余剰な廃棄物を出さずに医療の衛生を維持します。
- 周術期ケア: 手術室から出る廃棄物は、病院から出るすべての廃棄物の最大 30% を占めます。当社は、廃棄物の削減を目指して、運搬用トレイから外科用タオルに至るまで、持続可能かつ費用効率の高い OR 製品 を提供しています。

当社の Green Product Portfolio (グリーン製品ポートフォリオ) の認定を受けるには、厳しい「グリーン製品」基準を満たす必要があります。当社の基準は、Kaiser Permanente、Practice Greenhealth、連邦取引委員会 (FTC)、環境保護庁 (EPA) などの業界リーダーによる、環境にとって好ましい購買ガイドラインに基づいています。

2021 年 8 月以降、メドライン・ジャパンのパレットのプラスチック包装はすべて回収され、原材料レベルまでリサイクルされた後、サード パーティーが製造する新しいプラスチック製品の一部になります。

グリーン製品の検証

当社は、製品が市場に出る前に、その製品に係るすべてのサステナビリティ ステートメントを検証しています。当社の Green Product Portfolio (グリーン製品ポートフォリオ) に掲載されているすべての製品は持続可能な特性を 1 つ以上備えており、従来の製品よりも環境に優しい製品となっています。これらの特性には、バイオ素材、プラスチックの削減、懸念化学物質の削減、リサイクル性の改善、または Green Seal などの組織による第三者検証済み製品などが含まれます。予期せぬグリーン・クレームが発生しないよう、すべての製品特性は Medline の厳しい社内承認プロセスによって検証されています。

当社のグリーン基準の詳細については、こちらをクリックしてください。

71%**

ヘルスケア業界の GHG 排出量の 71% は、ヘルスケア サプライ チェーンから発生しています

*Waste | Practice Greenhealth (n.d.)**Health Care Without Harm & Arup.(2019).Health Care's Climate Footprint.Health Care Without Harm; Arup.

ビジネス戦略に沿った持続可能なパッケージング ソリューション

Medline の Dynacor 部門は、プラスチック、ラベル、リストバンド、患者用検査キット、簡単な処置用トレイ、器具や包帯など、患者用のさまざまな単回使用製品の製造に重点的に取り組んでいます。この部門が角型手洗い器のパッケージングを従来の 25 個 × 2 段から 50 個 × 1 段に変更したことで、段積みの効率がアップし、パッケージングの原材料と輸送費の両方を削減することができました。この変更は、年間 189 トンの原材料の削減という環境に良い結果をもたらしただけでなく、440,000 米ドルのコスト削減という企業にとっても良い結果をもたらしました。

顧客独自のニーズを満たす持続可能なプログラムを作成します。

当社は、顧客の課題に耳を傾け一緒に解決しながら、顧客が持続可能性を実現するための医療システムをサポートします。以下の Medline プログラムは、顧客がコストを削減しながら廃棄物を削減できるように設計されています。

当社は、以下のプログラムを顧客に提供しています。

- **ReNewal による医療機器の再処理 (米国)**
  単回使用医療機器を再処理し、安全に再利用できるようにすることで病院の廃棄物を最小限に抑え、2022 年には約 500 トンの廃棄物を削減することができました。

- **単回使用器具 (米国)**
  鉗子やはさみなど、簡単な処置用トレイに含まれる単回使用器具は、当社の器具リサイクル プログラムを通じてリサイクルおよび再処理できるように設計されているため、環境に優しいだけでなく、リサイクルが困難な廃棄物の処理コストを削減することができます。

- **大型バッグへの変更 (米国および欧州)**
  段ボール箱の代わりに再利用できる大型バッグで製品を配送することで、Medline US は当社サプライ チェーンにおける段ボール量の削減に貢献しました。大型バッグは再生プラスチックで作られており、それ自体がリサイクル可能なため、循環型経済の原則を順守できます。欧州では本プログラムを小規模に実施しており、少量の注文は個包装の代わりに再利用可能な大型バッグに入れられています。

- **手袋を廃棄物からエネルギーへ (米国)**
  当社は、使用済みの検査用手袋をクリーンで再生可能エネルギーに変換します。

持続可能なパッケージング

我々は持続可能性を実現するため、継続して探求・改善に取り組んでいます。当社は、パッケージングを最小限に抑え、完全にリサイクル可能にするという課題を理解しています。

この課題に対処するために、当社は 2021 年に、サステナブル・パッケージラボ (研究開発、サステナビリティ、オペレーション、そしてデザインの専門家で構成される部門横断型チームで、より持続可能な未来のために製品パッケージのあり方を再考することを任務とする) を立ち上げました。このチームは米国にあるものの、様々な変更は全世界に展開されます。

チーム創設から 1 年もしないうちに、サステナブル・パッケージラボは、そのイノベーションが認められて 2021 年の Sustainability, Environmental Achievement and Leadership (SEAL) の Business Sustainability Award を受賞しました。低温物流において、輸送資材をリサイクル可能な材料への変更や製品構成の変更による輸送効率の向上といったプロジェクトで成果を残しました。

当社の世界市場でも、持続可能なパッケージング ソリューションを検討しています。日本の SPT 部門は、2020 年に白い箱を標準の段ボール箱に切り替えて、包装材料の漂白の必要性を減らしました。2022 年以降、Medline Europe は、SPT を個々の箱に梱包する代わりに、複数の SPT を 1 つのパレット ボックスに積むことで、従来のおよそ 50% の段ボール、30% のプラスチックを削減するにいたっています。

ライフ サイクル アセスメント

より環境に優しい製品の設計、製造、および輸送を実現するために、Medline Europe は 2022 年に一部のガウンおよびドレープのライフ サイクル アセスメントを開始しました。製品固有のカーボン フットプリント情報を生成することで、介入すべき領域を特定するとともに、持続可能な購買決定をサポートするための有用なデータを顧客に提供することができます。

製品の安全性

当社が販売するすべての製品は、当社の高い品質基準を満たしていなければなりません。また、製品の継続的な改善に取り組んでいます。これらの目標を達成するために、私たちは総合的に品質への取り組みを行い、品質重視の環境を創造・維持します。

当社の総合的品質プロセス

Medline の品質部門は、複数の異なる分野、つまり品質保証、品質管理、レギュラトリー アフェアーズ、研究開発、ラボ、および滅菌で構成されています。

当社の 1,800 人以上の高度な訓練を受けた従業員スタッフが、Medline 製品のすべての品質関連部門を監督します。このチームには、化学者、微生物学者、統計学者、正看護師、薬事専門家、品質専門家およびエンジニアが含まれ、彼らの知識や経験が当社の目標である継続的改善に貢献しています。また、多くの技術者、検査員、コーディネーターおよび事務職員は、当社の品質工程の効果的な実施を保証するうえで重要な役割を果たしています。

- 品質保証: この部門では、Medline 製品が、厳しい製品品質特性を含むすべての関連要件および基準を上回っていることを保証します。
- 品質管理: 品質管理は流通前の最終チェックを行う部門であり、設計および検証プロセスで、顧客ニーズを満たす製品ができているかいるかどうかを確認します。品質管理は、ラインから出荷される製品の品質を保証する工程を作ることの代わりにはなりませんが、不具合が発生した場合のセーフティ ネットとして機能します。
- 薬事: FDA、ISO および世界各地の規制機関が定めている一連の複雑な要件を確実に順守することが、Medline の薬事の役割です。このチームは当社の医療機器、薬剤、および EPA 製品の販売認可の取得を担当し、当社の数多くのサプライヤーやパートナーに対して同様のサポートを提供しています。
- 研究開発/Medline ラボ: この部門は、当社製品の品質を設計しています。当社は、設計工学、人間工学、および検証/検証試験を組み合わせて活用し、高品質な製品の開発つなげています。当社では現在、サステナビリティを加味した製品開発に関して、同様の手法を適用しています。
- 滅菌: このチームは無菌性が要求される Medline 製品を評価し、適切な滅菌方法および滅菌サイクルを割り当てます。そして、手術室をはじめ様々な医療現場・用途で安全に使用できることを保証します。スタッフ メンバーは、製品がすべての滅菌要件を満たすようにすると同時にリード タイムと費用を削減できる代替の滅菌技術を継続的に研究しています。

当社は、製品が意図したとおりに機能しているかを確認するために、製品に関して大規模な市販後調査を行っています。

好ましくない傾向が見つかった場合は、その傾向に対して是正措置を講じます。まれに、製品回収が含まれる場合があります。当社の臨床専門家チームは、患者様や臨床医の安全性を決して損なうことなく、回収に基づく決定を行うサポートをします。回収の手順およびプロセスは、FDA およびその他の国際規制要件に準拠しています。

当社の品質システム認証には以下が含まれますが、それらに限定されるものではありません。

- MDSAP
- ISO 13485
- EU MDR – 欧州医療機器規制

また、Corporate Research and Development Laboratories 認証には、ISO/IEC 17025 (試験所における試験および校正の能力に関する国際規格) が含まれます。

最後に、19 の Medline 物流センターは、処方薬の薬品販売業者として連邦薬事委員会連合 (NABP) の認可を受けています。NAPB の担当者の現地監査 (Medline ポリシーや手順) を経て、認定を付与されています。

製品表示とマーケティング

当社の製品およびサービスの広告およびプロモーションに関する手順およびガイドラインは、ISO、EPA、FDA、FTC などの適用されるすべての国際法および基準に従って策定されています。今後 18 か月の間に、世界中の代表者によるワーキング グループを招集し、製品表示とマーケティングに関する戦略的構想および KPI を特定します。

当社のグリーン製品基準の詳細については、21 ページをご覧ください。

人々とコミュニティ

私たちは、従業員、コミュニティ、サプライヤー、患者様が、潜在的に持つ能力を最大限発揮できることを願っています。

その支援のため、職場における最高水準の安全と健康の維持、従業員のつながりや能力開発の機会の創出、組織全体での DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン) 進、そして、世界各地のコミュニティにおける健康の公平性に取り組みます。

ハイライト

24,000人以上
の従業員が 2022 年の従業員エンゲージメントに関するグローバル調査に参加

643 トン
相当の製品 (金額にして 270 万米ドル) を世界中の医療救援のために寄付

8,814 時間
米国の従業員が、151 件のさまざまな慈善事業でボランティア活動を実施

重要な ESG トピック:

従業員の健康と安全:
当社は、安全で健康な職場環境を維持しています。

従業員エンゲージメント:
当社は、友好的で質の高い職場の構築に向けて努力しています。

DEI:
当社の目標は、多様性に富んだインクルーシブな職場を構築し維持することです。

コミュニティエンゲージメント:
当社はコミュニティで積極的な* リーダーとなるべく努力しています。

医療アクセスと適正な医療費:
当社は、特に低資源国に住む人々の間で、当社製品およびサービスへの幅広いアクセスを確保したいと考えています。

サプライヤーの多様性:
当社は、小規模で多様性のあるサプライヤーの基盤を強化し、成長するよう取り組んでいます。

従業員を重視する

当社で働く人々、コミュニティおよびサプライヤーは、当社の成功の基盤です。彼らの絶え間ない献身と大変な努力のおかげで、世界中の患者様とご家族のために、医療をより良いものにすることができるのです。

当社は、以下に取り組んでいます。

- すべての従業員の健康およびウェルビーイングを推進する職場環境を構築する
- 誰もが当社のブランドと関わることを誇りに思い、職場、家庭または地域社会にかかわらず、喜んで他者に奉仕する組織文化を構築する
- 私たちが住み働くコミュニティの健康を向上させる
- 小規模で多様性のあるサプライヤーの基盤を強化し成長させる

従業員の健康、安全およびウェルビーイング

Medline は、従業員、顧客、契約者および当社が事業を展開する地域社会の安全およびウェルビーイングを目指して尽力しています。当社は、継続的な改善に積極的かつ献身的に取り組むとともに、Medline の環境ポリシーおよび安全基準の順守に取り組んでいます。

従業員の健康と安全

事故は防ぐことができると考え、ベスト プラクティスを実践し、業界リーダーをベンチマーク対象としています。当社は、業務関連のタスクを安全に行うための適切なツールや知識を提供し、健康上および安全上の目標を設定し達成するために、継続的な評価を行っています。

Medline は毎年、環境保護、健康および安全のためのさまざまな取り組みを実施しています。これらの取り組みでは、コンプライアンスを維持し、職場の安全性を継続的に改善することに重点を置いています。

以下を実施しています。

- 施設やプログラムの定期的な社内監査を実施する
- チーム メンバーへのトレーニングを実施する
- すべての事故の根本原因を調査する
- 効果的な是正措置を講じる

Medline は、Golden Cone や SAFE などの安全のための取り組みに従業員を参加させており、米国内の拠点ではポイント獲得のためにコンプライアンスやベスト プラクティスの実践が求められます。年末の時点で最高ポイントを獲得した拠点が勝利します。当社には、安全実績の監視および測定を行うためのシステムが備わっており、これらを定期的に評価して、目標やその他の環境保護、健康および安全のための取り組みに対する進捗状況を判断しています。

従業員のウェルビーイングの推進

当社は、従業員を大切にし、安全で刺激的、そしてやりがいのある職場環境の構築に取り組んでいます。当社は、Medline の社会的、環境的、および経済的な実績に貢献できる非常に有能な人材を確保できることを誇りに思っています。

Medline の世界中の従業員をサポートするためのさまざまな困窮者支援プログラムがあります。

- Medline 困窮者支援プログラムは、予期せぬ出来事または災害が原因で厳しい財政難に直面している、米国在住の従業員を支援するものです。
- 2023 年、Medline カナダは、前例のない一時的な困窮に直面している従業員への資金援助の提供を開始しました。このプログラムでは、500 ～ 5,000 カナダドル (約 372 ～ 3,725 米ドル*) が付与されます。対象となる状況には、自然災害、重病または犯罪が含まれます。

*2023 年 6 月 2 日時点

メキシコの安全週間

Medline メキシコでは、すべての従業員が健康および安全週間に参加して、会議、ゲーム、共有アクティビティなどのさまざまな活動を通じて、安全、健康および環境問題について学びます。毎年 5,000 人以上の従業員がこの取り組みに参加します。また、環境博覧会も開催して、スタッフに主な環境問題に関する情報を提供します。

5,000人以上
の従業員が毎年参加

従業員の健康、安全およびウェルビーイング (続き)

メンタル ヘルスの向上

支援内容やプログラムは地域によって異なりますが、以下は、メンタルヘルスに対する世界的な取り組みを示すいくつかのプログラムです。

Medline US は、従業員とその家族に、メンタル ヘルスおよびウェルビーイングをサポートするためのさまざまなリソースへのアクセスを提供しています。これらの中には Employee Assistance Program (EAP) が含まれており、カウンセラーへの訪問や Ginger (コーチング サービス、自立活動およびバーチャル セラピー セッションを提供する精神的/感情的支援アプリ) の費用がカバーされます。

Medline の EAP は、メキシコや欧州を含む、他の地域にも拡大しています。サービス内容は地域によって異なりますが、これらのプログラムは通常、自己啓発、幅広いワーク ライフ サポート、および資格を持つカウンセラーや専門家のサービスを受けられる機会を提供します。

Medline インドは、従業員が専門家による年 4 回のセッションを受けられる機会を提供し、肉体、精神およびウェルビーイングに重点を置いた、MedFit と呼ばれるプログラムを提供しています。

24,000人以上

の従業員が Medline の 2022 年の従業員エンゲージメントに関するグローバル調査に参加

従業員エンゲージメント

従業員のフィードバックは、当社の事業の成功にとって不可欠なものです。当社のエンゲージメントに関するグローバル調査や従業員とマネージャーとの会話を通して、当社は従業員の声に耳を傾けます。Medline が成長し、働きやすい職場でありつづけるために、率直なフィードバックが望まれます。従業員エクスペリエンスを高めるために同様に重要なのは、従業員のフィードバックに素直に耳を傾け、行動を起こすマネージャーであり、当社のトレーニングではこの点を重視しています。

従業員エンゲージメントに関するグローバル調査

Medline の 2022 年の従業員エンゲージメントに関するグローバル調査は、ウイリス・タワーズワトソン社によって実施されました。世界各地の 24,000 人以上の従業員から回答が寄せられ、さまざまなテーマについて評価するために、調査質問は 15 のカテゴリに分類され、指標にまとめられました。

全体的な結果としては、2019 年の調査結果よりも大幅な改善が見られ、すべてのカテゴリで評価が上がりました。また、当社のスコアを他社と比較した場合、製造業の企業としてのスコアは他社をしのいでおり、いくつかのカテゴリでは、さまざまな業界で最も高い業績を挙げている組織の基準値と一致していました。

「顧客重視」は、引き続きすべての従業員が最も高いスコアを付けているカテゴリの一つであり、顧客サービスに対するコミットメントを共有していることを示しています。

プロセス効率化のカテゴリのスコアは、成長の機会を示しています。従業員は、業務を遂行するうえで障壁、障害または不必要なルールを取り除く方法を熱心に模索しています。

リーダーは、エンゲージメントに関する調査結果の解釈方法に関するトレーニングを受け、成長が求められる分野に取り組むための行動計画を策定します。その後、リーダーは、調査結果をチームと共有し、チームと協力して改善計画を策定し実施します。

従業員エンゲージメント (続き)

スピークアップ

エンゲージメントに関する調査の他に、米国の従業員には、2022年に導入された「スピークアップ (率直に話そう)」制度などを通じて、意見、アイデア、質問、または懸念事項を表明する方法があります。

当社は 2023 年に、新たなブランディングを採用したり、プラットフォームへのアクセスを容易にしたりすることで、「スピークアップ」制度を強化する予定です。このキャンペーンでは、引き続き従業員のフィードバックが重視されます。フィードバックは継続的に収集され、Medline のリーダーと月 1 回のペースで共有されます。フィードバックをより厳密に解析することで、データから明らかになる主要なテーマについてより迅速な措置を講じ、より適切な調整を行うことができます。

従業員感謝週間を祝う

Medline では毎年、従業員に感謝を伝えるための従業員感謝週間を開催しています。従業員感謝週間のプログラムは拠点によって異なりますが、常に、従業員の時間、努力、および功績を称えることに重点を置いています。たとえば、Medline India の従業員感謝週間では、社内オリンピックやその他チームをまとめるためのゲームやスポーツイベント、従業員が新しい趣味を探るための活動、テーマ別のドレスアップデー、フィットネスチャレンジ、ファミリーデーなどが行われています。

最高の企業であり続けるために、当社は引き続き、当社の雇用方針や慣行を上位にランキングしている他の企業とのベンチマークを行っていきます。

雇用主としての評価

Medline は、最高の人材を惹き付け、確保し、ポジティブで包括的かつ魅力的な職場を育成することに力を注いでいます。当社は、常に最高の雇用主として名前が挙げられることを誇りに思っています。

- **シカゴ トリビューン誌の「Top Workplaces 2022 (トップ ワークプレイス 2022)」**、Medline は過去 13 年間に 12 回受賞。選ばれる企業は、第三者機関による調査結果によって決定されます。評価の焦点は、企業の強力なリーダーシップ、コラボレーションおよびコミュニケーションの文化、従業員のキャリアアップの支援に対するコミットメントです。

- **フォーブス誌の「Best Large Employers (最も優良な大企業)」**、2 年連続の受賞。2021 年の 440 位から、2022 年は 360 位に上がりました。2022 年のリストは、米国で 1,000 人以上の従業員を雇用する企業で働く 60,000 人以上の従業員を対象として調査結果に基づいて選出されました。「Best Large Employers (最も優良な大企業)」500 社は、対象となっている 3,500 社以上の企業の中から選ばれました。

- **フォーブス誌の「America's Best Employers for Women (女性が最も働きやすい米国の企業)」**、400 社中 28 位。Medline は、「職場の内外で女性を支援することにおいて先進的な企業」として認められました。

- **フォーブス誌の「Best Employers for New Grads (新入社員が最も働きやすい企業)」**、新入社員に最も人気がある米国企業 300 社中 80 位。このリストは、従業員 1,000 人以上の企業で働く、職業経験が 10 年未満のアメリカ人 20,000 人を対象にした調査結果に基づいて作成されました。

- **Great Place to Work Mexico**、当社のメキシコ、ヌエボラレドの施設が北東地域で 15 位。この賞は、信頼性、誇り、尊敬、公平性、交流など、さまざまな側面で優れている企業に与えられます。

従業員エンゲージメント (続き)

世界各地の従業員エンゲージメントへの取り組み

当社が、世界各地の従業員とつながりを持つ方法についていくつかご紹介します。

Medline Canada の CARES モデル:
Medline Canada では CARES 基準を使用して、従業員と当社の企業目的の関連付けを行っています。CARES モデルとは、当社の従業員の Customer Focused (顧客重視)、Accountable (アカウンタビリティ)、Respectful (尊重する)、Efficient (効率的)、Strength (強さ) を表すもので、それらの頭文字をとったものです。四半期ごとに、これらの資質とこれらの価値観に基づく行動の模範を示した従業員が同僚から推薦されます。価値観ごとに賞が授与されるほか、5 つの価値観すべてに対して継続的なコミットメントを示した模範的な従業員には総合賞が授与されます。

Medline China の取り組み:
Medline China では、1 年を通じて従業員がチームをまとめるための活動 (クラブ活動や毎月の社外イベントなど) に参加する機会を提供しています。女性デー、中秋節や春節などの中国の伝統的な祝日には、従業員に慰労品が付与されます。これにより、従業員エクスペリエンスが向上し、従業員の帰属意識、幸福感、および生産性が向上するだけでなく、チームの結束が強化されます。

Medline Europe のキャンペーン:
Medline Europe の「You Talk, We Listen (あなたの話を聞きます)」キャンペーンでは、関心のある問題について率直に話す機会を設けることで、従業員の安心感を高めています。このキャンペーンには、私たちがどのようにして互いにコミュニケーションをとるか、組織のあらゆるレベルに伝わるコミュニケーションをどのようにしてうまく行うかについてのメッセージが含まれています。2022 年、Medline Europe は、Walk this May と呼ばれる社内の取り組みも開始しました。欧州各国の Medline 従業員が、このウオーキング コンテストに参加し、チーム意識や仲間意識を高めています。

Medline India の MedTalks:
Medline India では、従業員エンゲージメントに関するグローバル調査や従業員感謝週間の他に、従業員エンゲージメント活動を定期的に企画しています。これらの活動の一つは、従業員がさまざまなテーマについて経験や考えを共有するための会話プラットフォーム「MedTalks」の導入です。

従業員によるボランティア活動

当社では、従業員が自分の時間や才能を活用して積極的に社会的変化を起こすことができるよう、さまざまなボランティア活動の機会を提供しています。現在、当社のボランティア プログラムは地域によって異なります。当社は、2023 年に従業員エンゲージメントやコミュニティ エンゲージメントに関するワーキング グループを招集する予定です。これらのグループの任務は、すべての従業員を対象に、真にグローバルなボランティア プログラムを作成し、経験を生み出すことです。2024 年には、米国でのボランティア活動や慈善寄付に使用しているオンライン プラットフォームを世界市場に拡大する予定であり、これによって、グローバルなボランティア活動や従業員の寄付活動に関するデータを報告できるようになります。2022 年には、米国の従業員 1,636 人が、151 件の各種慈善事業で 8,814 時間のボランティア活動を行いました。

2022 年に世界各国で行ったボランティア活動についていくつかご紹介します。

- **Medline US によるサービス月間の開催**
  Medline US は、2022 年に第 2 回サービス月間を主催しました。11 月中、従業員、友人、および家族を対象に米国全土でさまざまなボランティア活動の機会を提供しました。ボランティア活動を行った従業員に報いるために、Medline は 11 月のボランティア活動 1 時間ごとに慈善寄付を行い、その寄付額は従業員 1 人あたり最大 250 米ドルに設定されました。また、従業員は当社の Employee Recognition Program (従業員表彰プログラム) を通じて称賛され、ボランティア活動、募金活動、または非営利事業を通じて地域社会に貢献した従業員に報いて、従業員の名前で 3,000 米ドルが寄付されました。このひと月に 50 の非営利団体が、Medline の従業員から 1,200 時間以上のボランティア支援を受けました。主に、Feed My Starving Children 向けに 38,664 食の食事をパック詰めしたり、Northern Illinois Food Bank 向けに 約 3 トンの食事を仕分け・パック詰めしたりして、食料不足に直面している地域住民に 5,625 食の食事を提供しました。
- **Medline Australia の救命のための献血**
  病院は、救命医療のための献血に頼っています。オーストラリアでは、Medline チームは Lifeblood (オーストラリア赤十字の一部) や人々が血液や血漿を寄付できる組織を支援しています。2018 年以降、Medline チームは 450 件以上の献血を行い、1,300 人以上に相当する命を救いました。献血件数が、2025 年までに 1,000 件に達することを目指しています。
- **メドライン・ジャパンがドナルド・マクドナルドハウス・東大を支援**
  メドライン・ジャパンのコミュニティ支援の一環として、東京のドナルド・マクドナルド・ハウスでボランティアによる清掃活動を行いました。
- **Medline Mexico が子どもの日「Juguetón」を支援**
  Medline Mexico は、子どもの日を記念して、非営利団体と協力し、ボランティア活動や製品の現物寄付を通じて、養育放棄された子どもたちを支援しました。当日は、当社の拠点でゲーム、食事、社会活動、およびプレゼントでお祝いしました。

2024 年には、米国でのボランティア活動や慈善寄付に使用しているオンライン プラットフォームを世界市場に拡大する予定であり、これによって、グローバルなボランティア活動や従業員の寄付活動に関するデータを報告できるようになります。

DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)

当社は、DEI イニシアティブを通じて、誰もが真に自分らしくいられて成長できる環境づくりに取り組んでいます。当社は、従業員の多様性の豊かさを活用することで、従業員エクスペリエンスの向上、より強固な考え、より良い結果につながると考えています。

DEI 戦略

2022 年には、Medline US の DEI チームが、次の 4 つの主要な重点分野で構成される戦略を策定しました。

- 文化
- 優秀な人材を採用し、エンゲージメントを高め、保持する
- 包括的なリーダーシップ
- 事業の強化

この戦略は、現在、米国向けとなっていますが、徐々にグローバルに展開する予定です。当社は、このトピックに関する戦略の指針となる DEI のグローバル ステートメントを策定し、地域の代表者で構成されるダイバーシティ協議会を設立する予定です。当社では、既に DEI ESG ワーキング グループを設立し、グローバル KPI を設定しています。

Medline について理解する

当社は現在、法的に許される範囲において世界的な人口統計学的データの収集を行っています。2022 年 12 月 31 日時点では、Medline US の従業員は、女性 41%、男性 59%、白人 47%、有色人種 53% で構成されています。将来は世界各地のデータを収集する予定です。

従業員の人口統計学的データを向上させる 2 つの取り組みとして、米国のセルフ ID キャンペーンと欧州の DEI ダッシュボードが挙げられます。

米国のセルフ ID キャンペーン

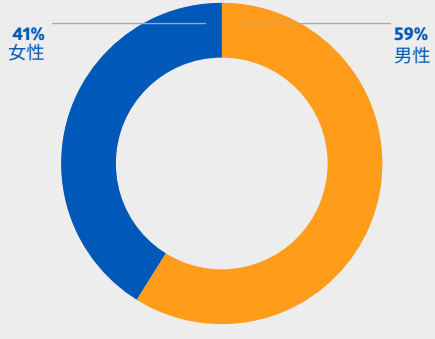
2022 年 11 月、Medline US は、従業員の人口統計学的データに関する理解を深めるために、セルフ ID キャンペーンを開始しました。参加者は、現在雇用されている従業員も将来の候補者も、自分の人種、民族性、ジェンダー アイデンティティー、性的指向、兵役経験、および障害者のカテゴリを自由意志で自ら選択することができ、それによって当社はこのデータを取得することができます。このデータは、従業員の能力開発プログラムなど、参加者に利益をもたらすためだけに使用されます。

欧州の DEI ダッシュボード

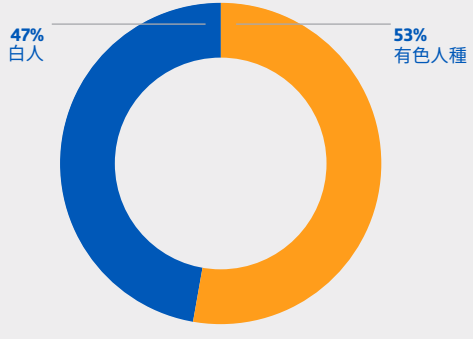
2022 年 5 月、Medline Europe は昇進、年功序列、および平均在職期間に関する DEI 指標をジェンダー、国籍、および障害者ステータス別に追跡するためのダッシュボードを作成しました。

Medline US の従業員の人口統計学的データ

ジェンダー



人種



優秀な人材を採用し、エンゲージメントを高め、保持する

Medline では、適切な候補者を見つけ保持するために、採用プロセスや選考プロセス以外の取り組みも行っており、事業の競争力を維持するために必要な専門技能を持つ人材を惹きつけ、維持することに努めています。

米国

ターゲットを定めたアプローチでリテンションに取り組むために、DEI チームは米国で以下のような取り組みを開始しました。

- さまざまな人口統計学的背景を持つ従業員からフィードバックを集めるためのヒアリング セッション
- Learning & Development 部門と連携して、DEI LinkedIn Learning 機会を特定し、リーダーシップ能力開発プログラムに DEI トピックを盛り込み、組織のあらゆるレベルを対象とした DEI トレーニング カリキュラムを作成する
- ERG をアップデートし、グループの持続可能性を向上させ、事業活動や製造に展開できるプランを持つ一般従業員に能力開発の機会を提供する

また、人材獲得チームは DEI チームと協力して、米国で募集する候補者プールを多様化するための戦略を策定しました。これは 2023 年に実施される予定で、関連市場における適格な候補者の人口統計学的多様性とマッチしたチームを構築することを目標としています。戦略の要素には以下が含まれます。

- リーダーシップ エンゲージメント
- 多様な人材に焦点を当てた職能団体との提携
- 当社の従業員の多様性を反映したマーケティング資料や画像の更新
- 面接過程における偏見の認識に関するリーダーの教育
- 社内異動および昇進の機会の推進
- 多様な適任候補者の確保に重点を置いた大学採用プログラム

最後に、2022 年、Medline US の DEI チームは、将来的な DEI 目標を決定するために、Medline の職場環境および人的資源のシステム、方針、および慣行を再検討します。当社は、当社の文化、従業員エクスペリエンス、能力開発、エンゲージメント、およびリテンションに重点を置いています。DEI の強化に向けた取り組みには以下が含まれます。

- 従業員エンゲージメントに関する調査から、包括的な文化に対する従業員の認識に直接関連する質問を使用して、インクルージョン インデックスを作成する。
- インクルージョンの取り組みを導くために、DEI チームと協力して積極的に協議会を設立するための販売組織の活動
- Learning & Development 部門と協力して、DEI チームが作成したトレーニング プログラムを、2023 年にコーポレート部門と製品事業部の両方に導入する予定

欧州

2022 年、Medline Europe は、DisCert (Disabled Certificate for Organizations) からシルバー認証を取得しました。この制度は、企業の障害者インクルージョンに対する取り組みを評価するもので、コミットメント、方針、直接雇用、アクセスのしやすさなど、9 つのカテゴリについて申請者を評価します。

Medline Europe は、2021 年と 2022 年の 3 月に国際女性デーを開催し、Medline の女性従業員へのインタビュー、女性従業員が書いたブログ記事などの広報キャンペーンを実施しました。また、2021 年と 2022 年の 6 月にはプライド月間を開催し、広報キャンペーンを実施しました。2021 年のプライド月間の焦点は地域社会のメンバーと Medline での彼らの経験でしたが、2022 年の焦点はアライシップの重要性でした。

カナダ

Medline Canada は、採用における多様性 (過小評価されている人材、先住民コミュニティ、新移民、LGBTQ2S (レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア、クエスチョニング、トゥー スピリット) コミュニティ、身障者、Z 世代と呼ばれる人口学的世代など) を推進するために、主要な団体と重要な協力関係を結んでいます。たとえば、Miziwe Biik や Indigenous Link などのパートナー組織は、先住民の求職者にトレーニングや雇用を提供しています。

先住民コミュニティのメンバーは、Medline Canada の空きポストに積極的に採用されています。この取り組みでは、真実和解委員会の実施要請 #92 (カナダの企業部門に対し、和解構想として「先住民族の権利に関する国連宣言」を採用し、先住民族とその土地や資源に関わる企業方針や中核的事業活動にその原則、規範、および基準を適用するよう求めるもの) を直接支援しています。2022 年の「全国真実と和解の日」を記念して、Medline Canada の Brave Conversations グループは、Anishinawbe Health Foundation に資金援助も行い、全寮制の学生やその家族を支援しました。

メキシコ

Medline Mexico は、国際女性デー、プライド月間、国際障害者デーなどを記念して、さまざまなイベントを主催しています。国際障害者デーには、身障者の価値や重要性、および身障者に対する差別を防ぐための方法をすべての従業員に知らせることを目的としたウェビナーが開催されました。

日本

メドライン・ジャパンの春日井工場 (SPT キッティング施設) は、多様性のある職場として、日本の大手ビジネス新聞の一つである日刊工業新聞に取り上げられました。

インクルーシブ リーダーシップ

インクルーシブ リーダーシップは、従業員エンゲージメントおよびリテンションに極めて重要です。チーム メンバー一人ひとりの特徴を理解することは、チーム メンバーの間に多様な考えを促す協力的な環境をつくるうえで重要です。

Medline India でも、女性が指導的役割を担う道が切り開かれてきました。女性は、強みの評価に焦点を当てた 52 週間のプログラムに登録されました。これらの評価では、参加者およびその上司と詳細な面談が行われ、その後に、外部の女性コーチの助けを借りて、個人の能力開発計画が作成されました。

従業員リソース グループ (ERG)

ERG は、ポジティブな職場文化に貢献し、従業員の経験について理解を深めることで、従業員エンゲージメントおよびリテンションにおいて引き続き重要な役割を果たします。ERG により、強い連帯意識や Medline への帰属意識が育まれると、新たなつながりを築くための時間と空間が生まれ、すべての声が届き、大きく広がります。

2022 年、Medline は、Disability Awareness and Action Alliance (DAAA) の発足に伴い、米国で活動している ERG の数を 7 つに増やしました。DAAA は、A Latinx Medline Alliance (ALMA)、Asian Pacific American (APA) ERG、Black Employee Network (BEN)、LGBTQ+ ERG、Medline Veteran Engagement Team および Women's ERG (WERG) に加入しました。

専門的能力の開発は、当社の ERG の重要な目標です。2021 年に ALMA と BEN の間で行われた試験的な社内指導教育プログラムの成功を受けて、より広範なプログラムが作成されました。スマート マッチングのプラットフォームを使用して、社内指導教育プログラムは 4 つの ERG (ALMA、BEN、APA ERG および WERG) に拡大され、200 人以上が参加しました。

2022 年、Medline は、Disability Awareness and Action Alliance の発足に伴い、米国で活動している ERG の数を 7 つに増やしました。

Medline Canada は、さらなるキャリア開発や公平性を促進する ERG、Medline Canada Women's Alliance を導入しました。意識向上やインクルージョンを促すために、多様性を称賛し、つながり、能力開発、および昇進の機会を創出することに焦点を当てたフォーラム「Medline Brave Conversations」も立ち上げられました。

事業の強化

当社の事業の成長は、市場のニーズに対応する新しい方法を見つけられるかどうかにかかっています。DEI への取り組みを拡大させていく中で、当社の改善と業界に良い影響を与えるのに役立つ多様な視点を集める手段を生み出しています。

Medline US の ERG は、多様な人々に向けたユニークな製品を開発して、事業を強化する新しいアイデアを検討しています。デザイナーのケンドラ・ダンディーとのコラボレーションの成功を受けて、2022 年 6 月に Curad™ ブランドから Pride Bandages (絆創膏) が発売されました。

コミュニティを重視する

誰もが健康的な生活を送る機会を得る権利を持っています。しかし、多くの人は自身が直面している社会的・環境的状況のために、その機会を平等に得ることができません。このような状況は、「健康の社会的決定要因 (SDOH)」として知られています。

当社は、慈善事業を通じて SDOH の解決に取り組んでおり、個人や家族が、置かれた状況にかかわらず、可能な限り完全な健康を手に入れられるよう支援しています。

世界各地の寄付活動へのアプローチ

2022 年、Medline は、慈善寄付の取り組みをグローバル化することにし、慈善寄付 (金銭的な寄付や製品寄付などの現物寄付を含む) のグローバル プロセスおよび方針の策定を開始しました。ESG チームは、方針で定められている構造やガイドラインの範囲内で慈善寄付を検討し、承認する役割を担っています。また、当社は慈善に関するグローバル ビジョンも作成し、3 つの中心的な柱 (医療アクセスと適正な医療費、コミュニティ エンゲージメントおよび環境の持続可能性) に沿った慈善事業への寄付を優先することを定めました。

来年、当社は慈善活動に重点を置いたコミュニティ エンゲージメントに特化した部門横断的なグローバル ワーキング グループを招集します。このグループは、今後の業務の指針となる、戦略的イニシアチブと重要業績評価指標を含むグローバル戦略を策定します。

2022 年の慈善活動

510 万米ドル以上
慈善寄付総額*

150 万米ドル
Medline Employee Support Trust による奨学金/困窮者支援プログラムへの資金提供*

270 万米ドル以上
現物寄付*

643 トン
寄付した製品の重量*

*米国内での寄付のみを集計。Medline は現在、データをグローバルで集約するためのプロセスを構築中です。

世界各地での寄付活動

米国

392,000

コロラド州の低所得者 2,450 人に提供された医療食の数

Medline は、健康の公平性を推進し、当社従業員が関心を寄せる活動を支援するための 3 つの助成プログラムを提供しています。

- 当社の Community Impact Grant Program プログラムでは、低所得コミュニティにおいて一般的な健康上の課題に取り組み、健康の公平性を推進し、公衆衛生を改善する慈善団体に年間 250,000 米ドルを助成しています。たとえば、2022 年の Community Impact Grant で支援を受けた Project Angel Heart は、重度の病気を抱えるコロラド州の低所得者 2,450 人以上に 392,000 食の医療食を用意し、提供することで、治療食のニーズに応えています。
- Medline は、従業員表彰プログラムを通じて、従業員が関心を持つ活動に投資しています。このプログラムは、地域社会にプラスの影響を与えた従業員を評価し、従業員が選んだ慈善団体に従業員の名前で寄付を行うものです。2022 年に支援を受けた団体の一つである Aspiritech は、非営利ソフトウェアおよび品質保証試験組織で、自閉症の人が有意義な仕事に就いて自分の能力を発揮できるように支援しています。米国では 44 人に 1 人の子どもが自閉症であるにもかかわらず、自閉症の成人の失業率は 83% にも達し、25 歳の自閉症者の約半数が給与をもらえる仕事に就いたことが一度もない、という問題があり、同組織は、北米最大の自閉症者の雇用主の一つとして、その問題の改善に取り組んでいます。
- Medline CARES 寄付プログラムでは、当社の従業員が生活し働いている地域を支援しています。Medline CARES チャリティパートナーの一つである Waukegan to College は、学生とその家族が大学で成功を収められるように準備するためのラップアラウンド サービスを提供しています。当社が支援する同組織の大学進学支援プログラムでは、高校の最上級生 21 人が大学進学できるよう支援し、68 人の大学生が第 1 世代の学生 (近親者の中で初めて大学に入学した学生) として成功し中退せずに済むよう支援しました。

インド

2,000人以上

「水の ATM」の恩恵を受ける人々

2022 年の 3 月、Medline India は、恵まれない夜間学校の生徒たちの教育改善に取り組む団体 Masoom にプロジェクターとノートパソコンを寄付しました。この寄付により、Medline India のオフィスがあるプネー市とその近郊に住む約 120 人の生徒たちに恩恵をもたらすことができました。

インド社会が直面しているもう一つの喫緊の課題は、清潔で安全な飲み水を入手することです。この問題に取り組むため、Medline India は Deepastambha Charitable Trust と協力し (Gramarthan プロジェクトと共同で、地元の村民の協力を得て)、近隣の 2 つの村に自動給水機 (「水の ATM」と呼ばれます) と逆浸透膜ろ過工場を設置しました。2022 年 4 月に設置されたこれらの水の ATM は、2,000 人以上の村民に恩恵をもたらしています。清潔な飲料水を自分たちと家畜たちのために入手できるようになったことから、汚物が混じった水が原因で生じる健康上の問題が減少しています。

欧州

31,400 ユーロ

重篤または長期にわたる病気や障害のある人たちを支援している組織を表彰

Medline Europe には、欧州全体の全従業員を代表する 9 つのローカル寄付委員会があります。これらの委員会は、それぞれの地域社会に貢献している組織および慈善団体に現金を寄付する役割を担っています。2022 年、このチームは重篤または長期にわたる病気や障害のある人たちを支援している組織、困窮している人たちを支援している組織、子供と若者の福祉を促進している組織に 31,400 ユーロ (約 33,826 米ドル*) を寄付しました。

*2023 年 6 月 2 日時点

世界各地での寄付活動 (続き)

オーストラリア

100,000 豪ドル以上

Cancer Council と Black Dog Institute のために集められた寄付金

オーストラリアでは、Medline の従業員は支援する 2 つの慈善団体を選びました。2021 年以降、このチームはガンと診断された患者とその家族を支援する慈善団体 Cancer Council と、良好な心の健康状態について研究し提唱する慈善団体 Black Dog Institute を支援してきました。その間に、このチームはこれら団体の重要な目的のために 100,000 豪ドル (約 66,154.50 米ドル*) 以上の寄付金を集めました。

カナダ

5,000 加ドル

心臓病と脳卒中の研究のために集められた寄付金

Medline Canada の Ride for Heart チームは、トロントの湖岸をウォーキング、マラソン、自転車走行することにより、心臓病および脳卒中の研究のために 5,000 加ドル (約 3,725 米ドル*) の寄付金を集めました。

日本

120,000 円

日本のピンクリボン運動の支援

メドライン・ジャパンは、乳がん早期発見の啓発活動を行っている認定 NPO 法人 J.POSH のオフィシャルサポーターとして活動を支援し、年間 120,000 円 (約 864 米ドル*) を寄付しています。

*2023 年 6 月 2 日時点

欧州委員会の rescEU プログラムを通じて 142,000 ユーロ相当の医療用品を寄付

ウクライナ危機に対する世界の反応

Medline は、EU 市民保護メカニズムの一環として、欧州委員会の rescEU プログラムを通じてウクライナに必要な医療製品を寄付しました。寄付の内容は、142,000 ユーロ (約 152,969.50 米ドル*) に相当する 14 トンの医療用品です。製品には酸素治療装置、スクラブ スーツ (白衣)、分娩キット、縫合糸、メス、皮下注射針などが含まれていました。

Medline の現地の従業員たちが主導する寄付委員会も貢献しました。

- スロバキアの寄付委員会は、衛生用品や缶詰など、乳幼児や小児に必要な物を集めるための運動を組織しました。これらの物品は、バーノウツェ・ナド・ベブラヴォウにある人道支援物資倉庫に運び込まれ、そこでウクライナからスロバキアに逃れてきた避難民に配給されました。
- ポーランドでは、消毒薬、マスク、手袋などの製品を寄付しました。ポーランドの従業員は、他の 3 つの組織 Polish Humanitarian Action、Polish Medical Mission、SOS Children's Villages Association in Poland にも寄付しました。
- ベネルクスの寄付委員会は、衣類、パーソナル ケア製品、食品やその他の必需品を集めるための組織を発足しました。これらの品物は、オランダのユトレヒトにある団体に寄付された後、ポーランドとウクライナの国境に運ばれ、ウクライナの避難民に配給されました。

また、米国本社は災害支援団体 Direct Relief と協力して、約 12 キロの Medline Micro-Kill™ Wipes を Modern Village and Town Charity Fund に寄付する作業をコーディネートしました。

*2023 年 6 月 2 日時点

医療アクセスと適正な医療費

世界の多くの人々は、最も基本的なケアさえも受けることができない、医療砂漠に住んでいます。当社は、世界中の非営利組織および医療施設と提携し、地域社会に力を与え、医療従事者が最善のケアを提供するために必要なリソースを確保できるようソリューションを提供しています。

当社は、国際的な支援組織と提携して Medline の余剰製品または未使用製品を回収し、それらを世界各地の発展途上地域に届けています。

2022 年、Medline US は、643 トン相当の製品 (金額にして 270 万米ドル) を寄付しました。提携先には、US arms of Direct Relief、Global Smile、MAP International、MedShare、MedWish、One World Surgery、Partners in Health、Project C.U.R.E.、See International and Matter などがあります。

Medline Europe は、International Health Partners (EU) と緊密に連携し、Medline Canada は、Health Partners International Canada の世界医療支援プログラムを支援するため 418,000 加ドル (約 311,385 米ドル*) 相当の包帯を寄付しました。

ザンビア

主要なパートナーの 1 つである MAP International は、Tree of Life Children's Village を、Medline の供給品から恩恵を受けることができる組織と判断しました。130 エーカーもの広大な敷地を持つ同施設は、ザンビアのルサカにあるフルタイムの移行期ケア施設です。Tree of Life にいる子供たちの病状は深刻であり、保護者が必要なケアを提供できなかったり、家庭環境が子どもの生活や成長に適していなかったりします。COVID-19 は彼らの地域社会に大きな打撃を与えましたが、Medline のスクラブやその他の製品を含む救援物資のおかげでコロナ ウイルスと闘い続けることができました。Medline は過去 4 年間に、MAP International にスクラブ、尿道カテーテル キット、ガーゼ パッド、各種包帯とテープ、ヘパリンと塩化ナトリウムの単回使用注射器、滅菌ワイプと滅菌製品、手術用手袋など、160 万米ドル相当の医療用品を提供してきました。

イエメン

Medline は、International Health Partners を通じて、イエメンの 1925 年に設立された男児孤児院を含む 8 つの医療保健施設に医療用品を寄付しました。孤児の多くは、過去 6 年間続いた内戦で家族を失った子どもたちです。その他の孤児たちは、親に捨てられたり、1 人でいるところを発見されたり、当局に保護されたりした子どもたちです。当時、この地域の Jahza Hospital には初期医療用の医薬品がまったくない状態でしたが、多くの組織は戦闘のためにその地域に入ることができず、援助物資を届けることもできませんでした。避難した人たち、特に子供たちは下痢と呼吸器感染症に苦しんでいました。このような症例の治療に Medline の医療用品が役立ちました。

スキルベース ボランティア

スキルベース ボランティア プログラムである、Medline US のグローバル ヘルス イニシアティブでは、ボランティアのリソースが乏しい医療現場に、従業員の専門知識や助言を無償で提供しています。これらのプロジェクトでは、Medline のビジネス感覚に沿った 3 つの分野、サプライ チェーンの最適化、周術期の効率化、衛生教育に重点を置いています。

2022 年、コロナ禍のために 2 年間中断していた海外出張を再開し、米国の従業員のボランティアと共にドミニカ共和国のサントドミンゴを訪れました。このグループは 11 人で構成され、ドミニカ共和国とハイチで必要最低限の医療を提供している非営利組織であり Medline のパートナーでもある Community Empowerment のために、サプライ チェーン システムと在庫管理プロトコルの強化を目的としたプロジェクトを主導しました。

Medline Europe は、アフリカ、中央アメリカ、中東の十分な医療サービスを受けられない子供と大人に、包括的な口唇口蓋裂治療を無料で提供している非営利組織 Global Smile Foundation との長年にわたるパートナーシップを通じて、健康の公平性を推進するという同様のコミットメントを共有しています。長年にわたって、欧州の従業員は同組織のボランティア活動に参加し、レバノン、エクアドル、ペルーを訪問してきました。

*2023 年 6 月 2 日時点

サプライヤーを重視する

サプライヤーの多様性

当社をよりインクルーシブにするための取り組みは、取引先を選ぶ方法にまで及んでいます。当社は、購買力を利用してサプライ チェーンの多様性を高め、小規模ながら多様性のあるサプライヤーの基盤を強化し成長させることに取り組んでいます。

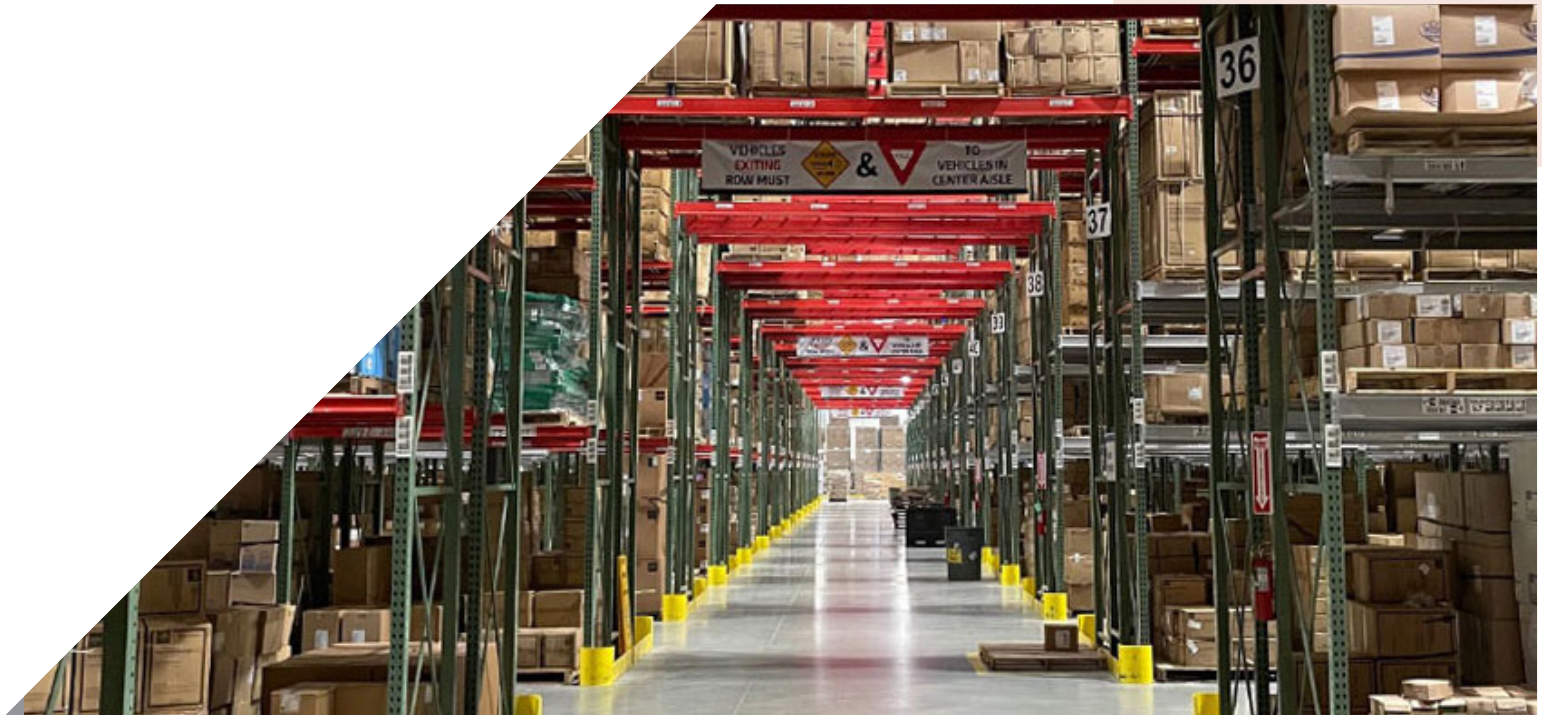
報告機能を強化するため、Medline は新しいサプライヤーの多様性データ、ソフトウェア、管理ソリューションを調達して、サプライヤーのデータを充実させ、同業他社とのベンチマークを行い、多様性に富んだサプライヤーを難なく見つけさまざまな支出について報告するようにしました。

また、2022 年には部門横断的なワーキング グループを招集して、2023 年におけるサプライヤーの多様性に対するアプローチをより明確に定義しました。

GCB Medical Supply との出会い

GCB Medical Supply (以降「GCB」) は、全米の医療システムに透明性、安定性、真のパートナーシップをもたらすことを使命とする、女性が経営する企業であり、同社とつながりを持てたことを特に誇りに思っています。GCB はサプライヤーとして、手袋、滅菌ラップ、アイソレーション ガウン、サージカル ガウン、ヘッドウェアとフットウェア、吸引キャニスター、小児用ガウンなどの一連の製品を提供しています。

また、GCB は世界中の女性の社会的地位を向上させることにも取り組んでいます。パラグアイの工場では、母親が工場で働いている間子供たちを学校に通わせるための奨学金プログラムを設立しました。この奨学金は、勤務中の 2 ～ 5 歳の子供の世話に充てられ、食事と学校への送迎が含まれています。さらに、GCB の全利益の 10% は、小児の心臓病の研究資金として寄付されています。



強固なガバナンス

私たちは、必要なことだけでなく、正しいことを行います。当社の事業、従業員、サプライヤーに対して高い倫理基準を求めます。

ハイライト

592 件
Medline が実施したエシカル ソーシングの監査件数

監査
エシカル ソーシングプログラムの対象範囲を拡大するため外部の社会的責任監査会社と契約

継続
手袋メーカー向けの Worldwide Responsible Accredited Production (WRAP) 認定プログラム

重要な ESG トピック:

エシカル ソーシング: 当社は、サプライ チェーンの全局面において、基本的人権を尊重し、重視し支持しています。

企業倫理: 私たちは、必要なことだけでなく、正しいことを行います。

データ プライバシーとセキュリティ: 当社は、情報のライフサイクルを通じて、個人データを安全に保護します。

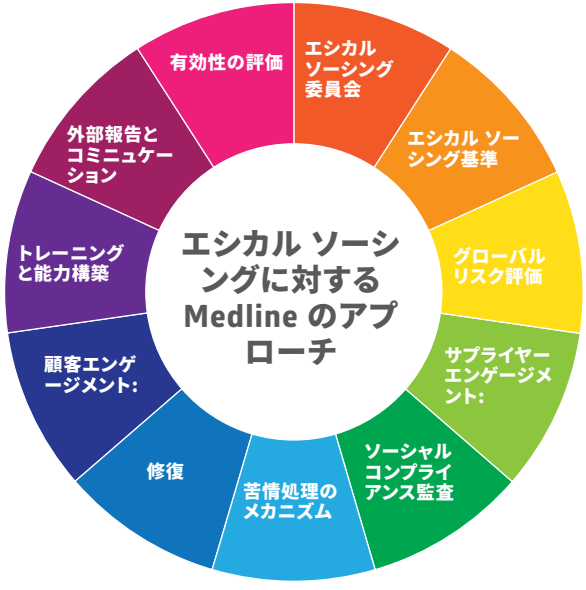
エシカル ソーシング

当社のエシカル ソーシング プログラムは、サプライ チェーンが当社の価値観を反映し、サプライ チェーン管理に対して持続可能で責任あるアプローチを取ることを徹底するものです。

Medline は、360,000 以上の製品を提供し、世界中で 34,000 人以上の従業員を雇用し、複雑で多様なグローバル サプライ チェーンで事業を展開しています。世界 40 か国以上で数千もの主要サプライヤーと取引しています。このような複雑な環境において、Medline のエシカル ソーシング プログラムは以下に対するコミットメントを強化しています。

- 事業を展開する地域社会を含め、当社事業とサプライ チェーン全体で、人権、公正な労働慣行、責任ある環境管理、安全で健康的な職場を推進する。
- 事業活動における人権侵害に関する信頼できる申し立てを評価し、必要に応じて調査し、適切に対処する。
- Medline の従業員と Medline のサプライ チェーンの労働者に、エシカル ソーシングに関する懸念を秘密厳守で報告できる連絡チャネルを提供する。
- エシカル ソーシングと人権に係るベスト プラクティスに関する情報と研修で、従業員とサプライヤーを強化する。
- サプライ チェーンのすべての段階を通じて当社の価値観を広めるため、サプライヤーに対する期待事項と要件を定める。

以下のグラフは、これらのコミットメントの運用方法を示すエシカルソーシング プログラムの 11 本の柱です。



ベンチマーキングとガイドライン

2020 年、Medline はエシカルソーシングの方針と手順の包括的な見直しを行いました。この見直しの一環として、外部の専門家の協力を得て、広く受け入れられている国際的なベスト プラクティスと突き合わせて当社の方針と手続きをベンチマークしました。

エシカル ソーシングのデュー ディリジェンスに対する Medline のアプローチは、国連のビジネスと人権に関する指導原則 (UNGP) の影響を強く受けています。また、当社は企業の人権に関するデュー ディリジェンスへの取り組みを継続的に再評価し、改善するという UNGP の原則にも賛同しています。

Medline は、国際労働機関、国連世界人権宣言、国連グローバル・コンパクト、Worldwide Responsible Accredited Production (WRAP)、Social Accountability International/SA8000、および OECD 多国籍企業行動指針から基準、規則、原則を取り入れています。

Medline サプライヤー行動規範 はエシカル ソーシングの基本原則をサプライヤーと共有し、サプライヤーが Medline のエシカル ソーシングへのコミットメントを堅持するための基本文書です。

人権

現代の奴隷制、強制労働、人身売買は、重大な人権問題であり、継続的な監視とデュー デリジェンスが必要です。Medline は、このような基本的人権の侵害を禁止し、防止するためのシステムと管理体制の維持に取り組んでいます。当社は、自社の事業活動とサプライヤーの事業活動の監視を行い、特にリスクが高いことが知られている地域のサプライヤーを注視し、人権に関する懸念の事例を特定、防止、是正します。

当社の 現代奴隷制度に関するステートメント は、サプライ チェーン全体にわたって人権を保護するという当社のグローバルなコミットメントを表明するものです。

エシカル ソーシングに対してリスクベースのアプローチを取ることで、最大のリスクが存在する場面に労力を集中的に投入しています。なぜなら、これこそが自社のネットワークを活用してプラスの変化を生み出すことができる方法であると考えるからです。2022 年には、Medline のエシカル ソーシングの監査チームが全世界で 592 件の監査を実施しました。

エシカル ソーシング (続き)

流通チェーンにおけるトレーサビリティの維持

Medline のエシカル ソーシングのデュー デリジェンス プロセスには、Medline ブランド製品の製造に使用されている材料に関する情報を収集するための手順が含まれています。当社の基本姿勢を示すものとして、Medline の「サプライヤー行動規範」にはダイレクトサプライヤーに対しては、サプライ チェーン全体におけるあらゆる形態の強制労働を禁止する項目と、Medline 製品の製造を含む、彼らの請負業者と下請け業者に対して Medline の高い倫理基準を適用することを求める項目が盛り込まれています。Medline は、デュー デリジェンスに対してリスクベースのアプローチを取っており、Medline の「サプライヤー行動規範」に違反するリスクが高いことが知られている材料や地域を特に注視しています。

WRAP は、グローバル サプライ チェーンにおける基本的な健康、安全、人権の基準の遵守を独立的に監視し、認証することを目的とする世界的に有名な組織です。

手袋部門の WRAP 認定

2022 年、Medline の手袋部門は、医療機器分野で初となる WRAP 認定プロジェクトを開始しました。WRAP は、グローバル サプライ チェーンにおける基本的な健康、安全、人権の基準の遵守を独立的に監視し、認証することを目的とする世界的に有名な組織です。WRAP は、独自の厳格な社会監査を実施し、同組織が定めた 12 の原則に基づいてコンプライアンスの評価を行っています。Medline 独自のエシカル ソーシングの基準と同様に、WRAP はその 12 原則を「国連ビジネスと人権に関する指導原則」、「OECD 多国籍企業ガイドライン」、「国連の国際労働機関」を参考に構成しています。

Medline との提携前、WRAP は主にアパレル小売業に焦点を当てていました。Medline は WRAP と緊密に連携し、12 原則を医療機器分野に適用したプロトコルを開発しました。WRAP はまた、Medline の手袋メーカーと協力して、このプロトコルをテストしました。2022 年、Medline は WRAP 認証に沿って 68 件の監査を行い、Medline の手袋を製造する会社のうち 33 社が認証を取得しました。

クリティカル マテリアルの使用に伴うリスクの管理

当社は、6 大陸にあるサプライヤーとの戦略的パートナーシップを活用することで、世界への展開力を確保しています。そのような広い地理的多様性に富んでいるサプライ チェーンを使用して、労働者を危険にさらす可能性がある状況を熱心に監視し、緩和しています。たとえば、以下の分野でサプライヤーに高レベルの精査を実施しています。

- 綿花生産、ゴム配合、違法木材の伐採、採鉱など、低賃金で移民や弱い立場にある労働者から搾取する可能性がある産業。
- 有害な化学物質の使用や産業用重機の操作など、身体的要求や身体的安全に対するリスクがある仕事。
- 第三者機関から当社のパートナー企業に派遣される臨時従業員または契約従業員。
- 現地の法律では合法でも、当社が自らに課している高い基準を満たさない可能性がある労働慣行。

さらに、Medline ブランドの製品の開発およびオンボーディング プロセスの一環として、Medline の品質保証チームは自社製品にクリティカル マテリアルおよび紛争鉱物が含まれていないことを保証する任務を負っています。このプロセス中に紛争鉱物が見つかった場合、その製造は承認されません。

企業倫理

当社の倫理コンプライアンス プログラムの使命は、法令や業界規範を順守するためのガイドライン、ツール、リソースを開発することによってリスク管理を行うことです。つまり、事業を正しく行うということです。

グローバル倫理コンプライアンス プログラム

当社のグローバル倫理コンプライアンス プログラムは、Medline の最高倫理・コンプライアンス オフィサーの下で、倫理的行動と現地の法令順守を推進するものです。このプログラムが全従業員に確実に行き渡るように、グローバル倫理コンプライアンス チームのメンバーは、このプログラムの実施と評価において最高倫理コンプライアンス オフィサーをサポートしています。

このプログラムには、コンプライアンスに関してリスクのある分野の監督、研修、実施、および監視が含まれますが、それらに限定されるものではありません。

- 利益相反
- 賄賂と汚職の防止
- 医療従事者との交流
- 透明性に関する報告
- 不正行為の申し立てに関する報告

Open Talk、秘密厳守の連絡チャネル

Medline はすべての従業員およびビジネス パートナーに対し、いかなる懸念も報告・提起するよう奨励しています。Open Talk は Medline のグローバルで秘密厳守の連絡チャネルで、従業員やビジネス パートナーは倫理、コンプライアンス、法令や方針への違反、Medline の行動規範について質問したり、懸念を提起することができます。このプラットフォームは独立した会社によって運営されており、24 時間 365 日利用可能で、75 か国語以上の言語に対応しています。

当社の行動規範

Medline の行動規範は、当社の倫理コンプライアンス プログラムの基盤となるものです。この規範は、当社の基本的価値観と原則を定義するもので、政府機関、顧客、競合他社、および従業員個人の関係を統制するものです。これには、差別禁止、ハラスメント禁止、職場の安全、従業員のプライバシー、政治参加、利益相反、贈答品の提供または受領など、さまざまなトピックが含まれています。

この行動規範には、Medline の従業員一人ひとりが守らなければならない基本的な事項を記載しています。

- すべての行動において誠実さをもって行動する
- 非倫理的と思われる状況や規範の精神に反する可能性のある状況に注意する
- 行動規範、コンプライアンス方針、または現地の法令に対する違反が疑われる場合は倫理コンプライアンス チームに報告する
- ビジネス慣行、倫理違反の可能性、または違法行為に対する調査または監査に全面的に協力する
- 事業活動が非倫理的、違法、または規範や他のコンプライアンス方針に違反しているという懸念がある場合は、倫理コンプライアンス チームに質問または相談する

コンプライアンスと慈善寄付

2022 年、Medline はすべての慈善寄付に対して適用されるグローバル慈善寄付方針を導入しました。

- Medline の医療および慈善活動の全般的な目的に沿っていること、および寄付を受ける組織が慈善または人道支援目的のみに寄付を使用すること
- Medline のDEI に対する取り組みに賛同する組織に寄付すること
- 潜在的な恩恵または事業上の利益を得るためではなく、対等な立場で受け取ること

当社が世界レベルで従う基準

Medline は倫理的かつコンプライアンスに則った方法で医療従事者と接することに尽力しています。当社では、現地の法令および業界の規範に従って、以下のような方針と手続きを制定しています。

- **AdvaMed:** 当社は AdvaMed の一員として、最高の倫理基準および安全で優れた医療技術への患者アクセスを提唱するという協会の使命を支援しています。当社は、米国の医療従事者との交流に関して AdvaMed の倫理規定を順守しています。
- **Medtech:** MedTech Europe 事業者団体の一員として、倫理的な事業慣行規範を順守することが求められています。MedTech Europe の規範に従い、顧客との関係と慈善活動の均衡を図る際に、利益相反を回避します。また、欧州の医療提供者に対し、またはその要請により、現金または製品を贈与することはありません。
  - 2021 年から 2022 年にかけて、Medline は MedTech Europe の「持続可能なコーポレート ガバナンスの臨時ワーキング グループ」に積極的に参加し、議長も務めています。ワーキング グループの活動には、既存および今後の ESG 関連の法規制に対する認識を高めること、医療機器業界が主要な声明や立場に賛同するための支援を行うこと、政策立案者に対するロビー活動や支援運動を促進することなどが含まれます。ワーキング グループに影響を与える欧州の主要な規制の開発には、EU Corporate Sustainability Due Diligence Directive (欧州企業サステナビリティ デューデリジェンス指令) 案、EU Corporate Sustainability Reporting Directive (欧州企業サステナビリティ報告指令) 案、および関連する European Sustainability Reporting Standards (欧州サステナビリティ報告基準) が含まれます。

データ プライバシーとセキュリティ

データ プライバシー

Medline でプライバシーについて語るとき、私たちは情報ライフサイクルの全過程において個人データをどのように取り扱い、どのように保護するかに目を向けます。これは、個人データの収集に始まり、使用許可を得て収集を継続し、そして情報提供者である顧客、患者様、従業員、および Medline のベンダーの要望に従って情報が破棄されるまで継続されます。

プライバシーは重要であり、適用される法令、行動規範やグローバル プライバシー ガバナンス方針などの Medline の社内規程を順守し、慎重に個人データを取り扱う法的義務並びに倫理的義務を負っています。

Medline のグローバル プライバシー オフィスは、データ プライバシー方針、基準の策定、および関連する研修や教育の開発を担当しています。このチームはまた、Medline 全体のプライバシー戦略 (プライバシー バイ デザインに重点を置く) の確立、データ プライバシー ガバナンスの監視、データ保護法のガイダンスおよび解釈の提供を行っています。2023 年には、NIST (米国立標準技術研究所) プライバシー フレームワークのグローバルな採用と適用の推進に取り組むことになります。

セキュリティ

Medline のサイバーセキュリティ プログラムは、取締役会による直接監督の下、グローバル情報セキュリティ最高責任者によって管理されます。取締役会は、情報セキュリティ最高責任者と情報最高責任者から、Medline のサイバーリスクおよび脅威、セキュリティ プログラムの評価、情報セキュリティ体制を強化するためのプロジェクトの状況、および脅威に関する新たな情報について、定期的な共同報告を受けます。

当社のサイバーセキュリティ プログラムは、NIST サイバーセキュリティー フレームワークに基づいた強固な方法で、会社の資産と顧客のプライバシーを保護することに重点を置いています。

多層防御アプローチにより、企業のあらゆるレベルでテクノロジー、方針、および研修の複数の層が展開され、会社の IT インフラストラクチャを安全に保ちます。従業員の研修、強固な ID およびアクセス管理、脆弱性管理、エンドポイント保護、ネットワーク セグメンテーション、イベント監視、およびグローバル サイバーセキュリティ チームとの連携により、当社システムの機密性、完全性、および可用性が確実なものとなっています。

当社のサイバーセキュリティ プログラムは、第三者による監査、評価、および侵入テストを通じて検査され、その有効性と法令要件への準拠が検証されます。

SASB コンテンツ指標

Medline は医療部門で適用可能な 2 つの SASB 基準を採用しています。

- 医療機器・医療用品のサステナビリティ会計基準
- ヘルスケア流通業のサステナビリティ会計基準

SASB 指標: 医療機器・医療用品の基準

サステナビリティ開示トピックと会計メトリクス

トピック	会計メトリクス	SASB コード	開示
購入しやすさと価格設定	米国消費者価格指数の年間上昇率に対する、全製品の正味価格の上昇率の加重平均の比率	HC-MS-240a.1	Medline は 2022 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。
	各製品の価格情報を顧客または代理店に開示する方法の説明	HC-MS-240a.2	Medline は 2022 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。
製品の安全性	リコール件数、総リコール数	HC-MS-250a.1	FDA による医療機器のリコールについては、ここをクリックしてください。 FDA による薬物のリコールについては、ここをクリックしてください。
	FDA の MedWatch 安全性アラート (医薬品) データベースに掲載されている製品のリスト	HC-MS-250a.2	FDA の MedWatch 安全性アラート (医薬品) にリストされている製品については、ここをクリックしてください。
	FDA の医療機器不具合	HC-MS-250a.3	Medline は医療機器不具合について、米国 FDA が要求するすべてのデータを報告しています。Medline の情報については、MAUDE データベースをご覧ください。
	cGMP (現行医薬品適正製造基準) 違反に対して実施された FDA による強制措置の件数 (種類別)	HC-MS-250a.4	FDA による強制措置の件数については、ここをクリックしてください。
倫理観に則ったマーケティング	虚偽のマーケティング クレームに関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-MS-270a.1	2022 年度は、虚偽のマーケティング クレームに関する法的手続による金銭的損失はありませんでした。
	製品の適応外使用のプロモーションを管理する倫理規定の説明	HC-MS-270a.2	Medline は FDA によって確立されたガイドライン (適応外コンテンツの場合はガイダンス案) を順守しています。Medline は、FDA 承認のガイドラインの範囲外または適応外の医薬品、医療機器、または生物学的製剤の使用を奨励または提案することはありません。これは、医療従事者との直接的な交流、プロモーション イベント、および話し合いの実施や後援を含みますがこれらに限定されない、あらゆる形態の営業およびプロモーション活動に適用されます。Medline は、適応外コンプライアンスに関して業務スタッフの研修を支援するメディカル アフェアーズ部門、医療コミュニティからの適応外使用に関する要請に対応するメディカル サイエンス リエゾン チームを立ち上げました。

SASB 指標:医療機器・医療用品の基準

サステナビリティ開示トピックと会計メトリクス

トピック	会計メトリクス	SASB コード	開示
プロダクト デザインとライフサイクル マネジメント	製品に含まれる化学物質に関連する環境・人の健康面への考慮を評価・管理し、サステナブルな製品に対する需要に応えるプロセスの説明	HC-MS-410a.1	Medline は医療機器会社であり、製品に関するすべての FDA 規則を順守しています。当社のグリーン製品ポートフォリオ (懸念化学物質を含まない製品) の詳細については、21 ページをご覧ください。
	回収されて再利用、リサイクル、または寄付された製品の総量、内訳: (1) 医療器具と医療機器、(2) 医療用品	HC-MS-410a.2	Medline は、再使用のための単回使用医療機器の回収と再処理、および医療製品の寄付を毎年行っています。Medline US は、2022 年に 230 万個以上の医療機器を再処理して約 500 トンの廃棄物を削減し、270 万米ドルに相当する 643 トン以上の医療製品を寄付しました。
サプライチェーン マネジメント	製造および製品品質に関する第三者監査プログラムに参加している (1) 事業体の施設および (2) Tier I サプライヤーの施設の割合	HC-MS-430a.1	Medline は 2022 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。
	流通チェーン内のトレーサビリティを維持するための取り組みの説明	HC-MS-430a.2	流通チェーン内でのトレーサビリティの維持の詳細については、41 ページをご覧ください。
	クリティカル マテリアルの使用に伴うリスク管理に関する説明	HC-MS-430a.3	クリティカル マテリアルの使用に伴うリスク管理の詳細については、41 ページをご覧ください。
企業倫理	賄賂または汚職に関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-MS-510a.1	2022 年、賄賂または汚職に関する法的手続による金銭的損失はありませんでした。
	医療従事者との交流に関する倫理規定の説明	HC-MS-510a.2	医療従事者との交流に関する倫理規定など、Medline がグローバルに順守する基準の詳細については、42 ページをご覧ください。

アクティビティ メトリクス	コード	
商品カテゴリ別販売台数	HC-MS-000.A	Medline の収益については、6 ページをご覧ください。

SASB 指標:ヘルスケア流通業の基準

サステナビリティ開示トピックと会計メトリクス

トピック	会計メトリクス	SASB コード	開示
輸送用燃料のマネジメント	輸送重量燃費	HC-DI-110a.1	ディーゼルの燃費は 8.65 MPG です。
	物流による環境への影響を軽減する取り組みの説明	HC-DI-110a.2	持続可能な輸送手段の詳細については、18 ページをご覧ください。
製品の安全性	製品の安全性に関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-DI-250a.1	Medline は 2022 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。
	毒性/化学物質の安全性、高い乱用の可能性、または配送における、販売される製品の健康面と安全面のリスクを最小化するための取り組みの説明	HC-DI-250a.2	Medline は、危険物の出荷に関して米国運輸省の規則を全面的に順守しています。適切な免許および資格はすべて、州および連邦政府の規制要件に従って検証されます。Medline は、使用成分の安全性および有効性を確認するため、当社が製造する医薬品が既存の米国薬局方の要件に準拠していることを確認するプロセス、および元素不純物が適切に管理されていることを確認するプロセスを確立しています。さらに、医療機器に関して、Medline は当社の機器が生体適合性の臨床的悪影響(毒性、発火性、刺激性など)を及ぼさないように、適用可能な生体適合性の要件に準拠しています。
偽造医薬品	流通チェーン全体で製品のトレーサビリティを維持し、偽造を防止するための方法と技術の説明	HC-DI-260a.1	Medline は、トラック & トレース ソフトウェアを使用して、メーカーのシリアル データを受信および送信することで、規制対象製品が当社の倉庫システムを安全に移動しているかを確認しています。
	医薬品および医療機器・医療器具のサプライヤーの認定のためのデューデリジェンス プロセスの説明	HC-DI-260a.2	Medline に対して Medline のラベルを付けた製品を提供するサプライヤーは、品質システムの評価(リスクに応じてリモート評価と現場監査の両方)、エシカル ソーシングのリスク評価、監査(リスクに応じて)、行動規範への署名、および品質保証協定への署名など、包括的なデュー デリジェンスを受けることになります。Medline はサプライ チェーン全体で非常に大きな存在感を示しており、継続的なリスク評価、スコア カードの作成、医薬品分野に適用可能なエンジニアリング コラボレーションおよび原材料の化学的/微生物学的安全性確認などのデューデリジェンスに継続的に取り組んでいます。
	偽造品に関連する潜在的または既知のリスクを顧客およびビジネス パートナーに警告するプロセスの説明	HC-DI-260a.3	流通した製品に偽造品に関する既知のリスクがあることが判明した場合、FDA 規制に準拠する当社のリコール プロセスに従って対応します。当社は自動化されたソフトウェア プラットフォームを活用し、顧客と規制当局に適切な通知を送るための専門のリコール チームを有しています。

SASB 指標:ヘルスケア流通業の基準

サステナビリティ開示トピックと会計メトリクス

トピック	会計メトリクス	SASB コード	開示
製品ライフサイクルマネジメント	ライフサイクル全体を通して包装容器の環境への影響を低減する戦略の説明	HC-DI-410a.1	持続可能なパッケージングの詳細については、22 ページをご覧ください。
	回収、再使用、リサイクル、または寄贈された製品の量 (重量)	HC-DI-410a.2	Medline は、再使用のための単回使用医療機器の回収と再処理、および医療製品の寄付を毎年行っています。Medline US は、2022 年に 230 万個以上の医療機器を再処理して約 500 トンの廃棄物を削減し、270 万米ドルに相当する 643 トン以上の医療製品を寄付しました。
企業倫理	利益相反と非倫理的な商行為を最小限に抑えるための取り組みの説明	HC-DI-510a.1	当社の行動規範は、企業価値、誠実さと行動の基準の概要を示しています。当社の従業員が誠実さを持ち、法に従って行動するための指導方法の詳細については、42 ページをご覧ください。
	賄賂、汚職、またはその他の非倫理的な商行為に関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-DI-510a.2	2022 年度は、賄賂、汚職、またはその他の非倫理的な商行為に関する法的手続による金銭的損失はありませんでした。

アクティビティメトリクス	コード	
医薬品の製品カテゴリ別販売単位数	HC-DI-000.A	このアクティビティメトリクスは重要ではありません。
医療機器の製品カテゴリ別販売数	HC-DI-000.B	Medline の収益については、6 ページをご覧ください。

© 2023 Medline Industries, LP. All rights reserved. Medline は Medline Industries, LP の登録商標です。MKT19W4764342 / ne23478